

農林水産研究タイムリー情報

2021年5月7日時点

(合計334件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
①農業研究部 (計60件)						
0879	農業研究部	<p>【白ネギの夏期高温対策試験で2次育苗を開始】 (2020. 3. 19発信)</p> <p>農業研究部では、独自に開発した大苗育苗技術を用いて夏期の生育を安定化する試験を行っています。写真は通常の苗の倍程度の太さの大苗を育苗するため、播種1ヶ月後の苗の間隔を広げているところです。さらに育苗を続け、5月上旬に定植予定です。</p>		農業研究部 葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2021.4.16
0878	農業研究部	<p>【カンショのウイルスフリー苗を増やしています！】 (2021. 3. 19発信)</p> <p>ウイルスフリー苗確保のための増殖を行っています。試験管で育てた苗を節ごとに切断し新しい試験管内に移植することで約5倍に増やします。この作業を繰り返し行い試験に必要な苗を準備しています。</p>	 (拡大)	農業研究部 葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2021.4.16
0852	農業研究部	<p>【サイドパイプを利用した小ネギの栽培が始まりました】 (2021. 2. 4発信)</p> <p>小ネギの栽培ではハウス側面に近い部分が乾くことによる生育のばらつきが課題です。そこで、頭上からのかん水に加え、ハウス側面からサイドかん水を行うことで、圃場全体の水分状態を均一にする試験を開始しました。今後は生育調査や収量調査を行う予定です。</p>		農業研究部 土壌・環境チーム	0974-28-2072	2021.2.26
0851	農業研究部	<p>【茶園場の生育状況を上空から確認しています】 (2021. 2. 4発信)</p> <p>一番茶に向けて試験圃場内の生育を揃えるための管理を行っています。通常の見回りと平行して、ドローンを用いて茶園場を高度50mから撮影した画像を使うと生育不良箇所を見つけやすくなります。</p>		農業研究部 葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2021.2.26
0850	農業研究部	<p>【ドローン操縦研修を行いました】 (2021. 2. 4発信)</p> <p>農業研究部では、各振興局農林基盤部等に配備しているドローンの操縦が出来る「操縦者認定」を受けた職員が増加しています。今回、操縦者認定を有する職員の技術向上のため、場内でドローンを使った圃場撮影の研修を行いました。</p>		農業研究部 企画指導担当	0974-22-0671	2021.2.26
0830	農業研究部	<p>【お茶のスマート農業技術開発に向けて ～今年の結果を解析中～】 (2020. 12. 28発信)</p> <p>農業研究部では、一番茶の摘採適期を簡易に判断する技術を開発しています。近赤外線画像を解析して茶葉の成分を推定するものです。今年度得られた結果を分析するにあたり、専門家のアドバイスをいただきました。</p>		農業研究部 葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2021.1.29
0822	農業研究部	<p>【7月定植作型の白ネギを収穫しました！】 (2020. 12. 24発信)</p> <p>白ネギは夏の大雨や高温により、生育が不安定になります。その対策のため、開発中の大苗技術を使用して、7月に定植する作型の試験を行っています。12月18日に収穫調査を行いました。写真は、収穫したネギを出荷基準に沿って調整し、1本づつ重さと品質を調査しているところです。</p>		農業研究部 葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2020.1.29
0813	農業研究部	<p>【ベルトプランターで小ネギの省力栽培を試験しています】 (2020. 12. 9発信)</p> <p>農業研究部で独自開発したベルトプランター栽培技術を使い、小ネギの栽培を省力化や省スペース化する試験をしています。土壌水分センサーを用いてかん水の量や回数を自動化することで、さらなる省力化や収量品質の向上につなげようとしています。</p>		農業研究部 葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2021.1.12

農林水産研究タイムリー情報

2021年5月7日時点

(合計334件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
0801	農業研究部	<p>【小ネギの肥料試験の収量調査を行いました】 (2020.11.27発信)</p> <p>播種直後の多量かん水により、肥料の効果が低下している可能性がある小ネギ栽培において肥効の異なる肥料を用い、適切な施肥量を把握するための試験の収量調査を行いました。処理区ごとに1本ずつ長さや太さ、重さを量りました。</p>		農業研究部 土壌・環境チーム	0974-28-2072	2020.12.25
0800	農業研究部	<p>【県内露地野菜生産者が白ネギの試験研究を見学】 (2020.11.27発信)</p> <p>県内の白ネギ生産者が、試験研究状況の見学に訪れました。場内圃場で生産者に説明を行った後、農業研究部で開発した大苗育苗の実演を行いました(写真)。生産者は熱心に実演の様子を見学されており、高い関心を持っていることが伺えました。</p>		農業研究部 葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2020.12.25
0782	農業研究部	<p>【高糖度カンショ「甘太くん」の糖度調査中!】 (2020.11.10発信)</p> <p>高糖度カンショは一定期間貯蔵することで糖度が上がります。県内で生産・貯蔵されたカンショが出荷基準に達しているか、調査が場内で行われています。基準をクリアしたものは「甘太くん」として出荷されます。</p>		農業研究部 企画指導担当	0974-22-0671	2020.12.7
0778	農業研究部	<p>【ベルトプランターで栽培した小ネギの調査をしました!】 (2020.11.9発信)</p> <p>農業研究部で独自開発したベルトプランター栽培技術を活かして、葉菜類の試験栽培を行っています。小ネギ栽培において、培土への転炉スラグの混和による、収量や葉先枯れ発生軽減効果について調査を行っています。</p>		農業研究部 葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2020.11.30
0777	農業研究部	<p>【新しい栽培方式で小ネギの省力栽培を試験しています】 (2020.11.9発信)</p> <p>幅5cm、長さ10m以上の細長いプランターに土を詰め、紙で連なっている小ネギ苗を縦に広げて、栽培試験を行っています。従来にない省力、省スペースが期待されます。</p>		農業研究部 葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2020.11.30
0770	農業研究部	<p>【白ネギの抽だい対策試験で2次育苗を開始】 (2020.10.30発信)</p> <p>農業研究部では、独自に開発した大苗育苗技術を用いて4~5月収穫作型の抽だい(ちゅうだい:俗にねぎ坊主と呼ばれ、発生するとネギが堅くなる)回避を目指す試験を行っています。写真は播種1ヶ月後の苗の間隔を広げているところです。さらに1ヶ月半、育苗を続けて苗を大きくします。</p>		農業研究部 葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2020.11.30
0769	農業研究部	<p>【県内露地野菜生産者がドローンを用いた試験研究を見学】 (2020.10.30発信)</p> <p>県内の露地野菜生産者が、ドローンを用いた試験研究状況の見学に訪れました。ドローンを用いて露地野菜の生育状況を把握する取り組みについて説明を受けた後、ドローンのテスト飛行を見学しました。</p>		農業研究部 土壌・環境チーム	0974-28-2072	2020.11.30
0756	農業研究部	<p>【水田にキャベツを定植しました】 (2020.10.21発信)</p> <p>水田への園芸作物の導入にあたり、排水対策や土壌の物理性、化学性の改良が必要です。通常、改良には数年かかりますが、有機物を大量に投入して、改良にかかる期間を短縮するための試験をしています。</p>	 水田農業グループの水田圃場にてキャベツの定植を行いました	農業研究部 土壌・環境チーム	0974-28-2072	2020.11.30
0755	農業研究部	<p>【地球温暖化対策と農業の関係を調査中】 (2020.10.21発信)</p> <p>農業研究部では国の委託を受け、地球温暖化防止と土壌肥沃度の変化を把握するため、農地に蓄積している炭素や窒素の量とその変化を調査しています。調査の基準点として場内圃場にハウサイを定植しました。</p>		農業研究部 土壌・環境チーム	0974-28-2072	2020.11.30

農林水産研究タイムリー情報

2021年5月7日時点

(合計334件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
0750	農業研究部	<p>【小ネギの肥料試験の栽培が始まりました】 (2020.10.19発信)</p> <p>これまでの試験で、小ネギ栽培では播種直後の多量かん水により、肥料の効果が低下している可能性が明らかになっています。そこで溶出パターンの異なる肥料を用い、適切な施肥量を把握するための試験を開始しました。今後は生育調査や収量調査を行う予定です。</p>		農業研究部 土壌・環境チーム	0974-28-2072	2020.11.30
0725	農業研究部	<p>【白ネギの抽だい対策試験が始まります】 (2020.9.25 発信)</p> <p>白ねぎの4~5月収穫の作型は抽だい(ちゅうだい: 俗に「ねぎ坊主」と呼ばれ、発生するとネギが堅くなる)が発生するため生産量が不安定です。そこで農業研究部で開発した大苗育苗技術で抽だい回避を目指します。今年は播種粒数と定植時期を組み合わせ、比較を行います。</p>		農業研究部 葉根菜類・茶葉チーム	0974-28-2082	2020.10.30
0734	農業研究部	<p>【炭酸ガスを用いた「ベリーツ」のハダニ対策 ~処理後の苗を定植~】 (2020.10.6発信)</p> <p>イチゴ苗につくハダニを本圃へ持ち込まないため、定植前の苗に炭酸ガス処理を行いました。処理による苗の傷み程度を調査し、定植を行いました。今後ハダニ発生状況を定期的に調査していきます。</p>		農業研究部 病害虫対策チーム	0974-28-2078	2020.10.28
0733	農業研究部	<p>【炭酸ガスを用いた「ベリーツ」のハダニ対策を 試験しています】 (2020.10.6発信)</p> <p>イチゴ栽培で問題となるハダニに対して、高濃度の炭酸ガスを充満させた施設内に苗を置くことで、ハダニ発生が抑えられるか試験しています。定植前の苗に処理することで、本圃へのハダニ持ち込み軽減につながります。</p>	 <p>苗入りのコンテナをシートで覆い、炭酸ガスを充満させます</p>	農業研究部 病害虫対策チーム	0974-28-2078	2020.10.28
0719	農業研究部	<p>【イチゴ「ベリーツ」の炭疽病抵抗性を確認しています】 (2020.9.15発信)</p> <p>イチゴで重要な病害の一つである炭疽病について、他の品種と比べて「ベリーツ」がどの程度抵抗性を持つか、実際に菌を接種して発病の度合いを確認しています。接種後の調査は、発病する2~3週間後に行います。</p>		農業研究部 病害虫対策チーム	0974-28-2078	2020.10.15
0714	農業研究部	<p>【普及員対象のイチゴ研修が農業研究部で行われました】 (2020.9.1 発信)</p> <p>イチゴは花芽分化を確認して定植する必要があり、実体顕微鏡を用いて花芽検鏡を行います。針先を用いた細かい作業や花芽分化のステージを判断するには経験が必要です。そこで、県内の新採用普及指導員や普及経験の短い職員を中心に、研修を農業研究部で行いました。</p>		農業研究部 企画指導担当	0974-22-0671	2020.10.1
0688	農業研究部	<p>【大分県茶品評会が農業研究部で行われました】 (2020.7.30 発信)</p> <p>大分県茶業協会主催の第52回茶品評会が場内で行われました。審査には農業研究部の研究員も参画し、一番茶60点について、茶葉の形やつや、色をチェックした後、実際にお湯を注いで香りや味を審査しました。</p>		農業研究部 企画指導担当	0974-22-0671	2020.8.21
0687	農業研究部	<p>【夏越し作型の白ネギを定植しました！】 (2020.7.30 発信)</p> <p>白ネギでは夏の大雨や高温により、生育が不安定になります。その対策のため、開発中の大苗技術を使用して、7月に定植し12月に収穫する作型の試験を行っています。苗の乾燥処理と育苗時の追肥量を検討しており、今後調査を続けていきます。</p>		農業研究部 葉根菜類・茶葉チーム	0974-28-2082	2020.8.20
0676	農業研究部	<p>【県内農業後継者が茶の試験研究を見学】 (2020.7.21発信)</p> <p>県内のお茶の農業後継者が、試験研究状況の見学に訪れました。試験概要の説明を受けた後、場内の品種圃で複数品種を見比べ、茶の官能審査の体験や茶工場の見学をしました。</p>		農業研究部 葉根菜類・茶葉チーム	0974-28-2082	2020.8.16

農林水産研究タイムリー情報

2021年5月7日時点

(合計334件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
0675	農業研究部	<p>【農業大学校でお茶の授業を行いました】 (2020.7.21発信)</p> <p>農業研究部の職員が定期的に農業大学校で学生に授業を行っています。 お茶が出来るまでの流れを説明し、場内の圃場と茶工場を見学した後、実際に官能審査（お茶の見た目や香り、味などの品質確認）を体験してもらいました。</p>		農業研究部 企画指導担当	0974-22-0671	2020.8.16
0674	農業研究部	<p>【冬ニラを定植しています！】 (2020.7.21発信)</p> <p>農業研究部では葉が大きく太い冬ニラを作るための試験を行っています。試験に向けて、7月14日に定植を始めました。苗の植え付け深さと苗の本数を組み合わせて、最適な条件を検討していきます。</p>	 一定の深さで植えるため専用器具を用いています	農業研究部 葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2020.8.13
0673	農業研究部	<p>【ウンカ類に対する新しい薬剤の防除効果を調査しています】 (2020.7.21発信)</p> <p>昨年、水稲に大きな被害を及ぼしたウンカ類対策として、新しい薬剤の防除効果を確認しています。 無防除の水田と比較して、10日おきにウンカ類の発生状況調査を続けています。</p>	 白い粘着板の上に、ウンカ類をはたき落としていきます。	農業研究部 病害虫対策チーム	0974-28-2078	2020.8.13
0672	農業研究部	<p>【発生予察田で病害虫発生状況を調査しています】 (2020.7.21発信)</p> <p>今年の病害虫発生状況を把握するため、防除を行わない水田（発生予察田）を場内に設けています。 収穫時期の異なる3品種について病害虫発生状況を継続的に調査し、過去の発生状況と比較することにより、今年の注意すべき病害虫を確認しています。</p>		農業研究部 病害虫対策チーム	0974-28-2078	2020.8.13
0667	農業研究部	<p>【カンショのウイルスフリー苗を増やしています！】 (2020.7.14 発信)</p> <p>農業研究部ではウイルスに感染していない苗を試験管内で作る研究をしています。この苗を基にして全生産者の苗（ウイルスフリー苗）を毎年更新しています。</p>	 試験管で培養中	農業研究部 葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2020.8.6
0659	農業研究部	<p>【コマツナ・チンゲンサイのリモートセンシング】 (2020.7.2 発信)</p> <p>コマツナ・チンゲンサイの収量予測等に活用するため、ドローンによる空撮を豊後大野市現地ほ場で実施しました。画像を解析して得られるデータと収穫量等の関係性を調査していきます。</p>	 上空約80mからほ場を撮影しました	農業研究部 土壌・環境チーム	0974-28-2072	2020.7.22
0658	農業研究部	<p>【イチゴ新品種育成のため、採苗を行いました】 (2020.7.2発信)</p> <p>昨年度の試験で選抜したイチゴの有望な系統や交配用母本など約2600本を鉢上げ方式で採苗しました。今後は9月下旬に定植し、形質を評価しながら選抜を重ね、合わせて新しい組合せの交配も行っていきます。</p>		農業研究部 果菜類チーム	0974-28-2081	2020.7.22
0657	農業研究部	<p>【初夏取り作型白ネギの収穫をしました！】 (2020.7.2発信)</p> <p>初夏に収穫する白ネギは、抽だい※の発生による品質低下がみられます。農業研究部では大苗を使用して抽だいを回避する試験をしています。収穫したネギを1本づつ調整し重さと品質を調査していきます。 ※「抽だい」とは：花が咲き品質が低下することです。「とうが立つ」ともいいます。</p>		農業研究部 葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2020.7.17
0641	農業研究部	<p>【麦栽培期間中に堆肥散布した試験圃場の土壌調査実施！】 (2020.6.25発信)</p> <p>水田の地力低下が問題となっており、その対策として、麦の栽培期間中に堆肥を散布する試験を水田農業グループで行っています。麦の作付終了後に堆肥散布の効果を確認するため、当チームで土壌調査を行いました。</p>		農業研究部 土壌・環境チーム	0974-28-2072	2020.7.10

農林水産研究タイムリー情報

2021年5月7日時点

(合計334件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
0640	農業研究部	<p>【水稻で堆肥入り肥料の栽培試験を始めました】 (2020.6.25 発信)</p> <p>新規格肥料「混合堆肥複合肥料」を使った水稻の栽培試験を開始しました。 原料に堆肥が使われていることから、化成肥料単体よりも土づくり効果が高いとして注目されています。化成肥料と同等の生育を目指します。</p>		農業研究部 土壌・環境チーム	0974-28-2072	2020.7.10
0626	農業研究部	<p>【堆肥入り肥料を使ったカンショの栽培が始まりました】 (2020.6.8 発信)</p> <p>混合堆肥複合肥料(堆肥入りの複合肥料)を使ったカンショの栽培試験を開始しました。 この肥料は一般的な有機配合肥料より安価で、堆肥の新たな活用法を図れる資源循環型肥料として期待されています。</p>		農業研究部 土壌・環境チーム	0974-28-2072	2020.7.3
0625	農業研究部	<p>【今年も美味しい一番茶が出来ました！】 (2020.6.8 発信)</p> <p>1番茶の品質確認のため、機械で一番茶の成分分析を行うとともに、茶葉の色や香り、味を確認しています。 今年は4月の気温が平年より1℃低く、茶葉の生育がゆっくり進んだことで旨味や香りが増して、美味しい一番茶に仕上がりました。</p>		農業研究部 葉根菜類・茶葉チーム	0974-28-2082	2020.7.2
0621	農業研究部	<p>【生育診断技術確立に向けて、白ネギほ場の撮影を始めました】 (2020.6.2 発信)</p> <p>ドローンを活用した白ねぎの迅速な生育診断技術の開発に向けて、場内ほ場で撮影を行いました。 上の写真はドローンで上空から撮影したもので、下は加工後の写真です。画像の色調の差異により、初期の生育診断技術に活用できるか検討しています。</p>		農業研究部 土壌・環境チーム	0974-28-2072	2020.6.28
0619	農業研究部	<p>【アザミウマの天敵が住み着きやすい植物を探しています】 (2020.6.2 発信)</p> <p>ピーマンに被害を及ぼすアザミウマ対策のため、天敵を活用する試験をしています。 春に花を咲かせ、周辺に住んでいる天敵を誘引する植物を探しています。写真はソバの花を調査しているところです。</p>		農業研究部 病害虫対策チーム	0974-28-2078	2020.6.27
0618	農業研究部	<p>【土壌水分測定に向けて、測定機器を作成中】 (2020.6.2 発信)</p> <p>野菜の栽培において、水管理は収量や品質に与える影響が大きく、重要な技術です。土壌中の水分動態をより詳しく調べるため、今後の普及性も考慮し安価で精度の高い土壌水分センサーが活用できないか試作しています。</p>		農業研究部 土壌・環境チーム	0974-28-2072	2020.6.27
0617	農業研究部	<p>【イチゴ「ベリーツ」のウイルスフリー苗の鉢上げを行いました】 (2020.6.2 発信)</p> <p>県産ベリーツの安定生産を図るため、生産者へ配布するウイルスフリー苗(ウイルスに未感染の苗)の元となる苗を農業研究部で増殖しています。 この後、民間種苗会社で二次増殖し、農業団体を通じて供給されます。</p>		農業研究部 果菜類チーム	0974-28-2081	2020.6.26
0616	農業研究部	<p>【白ネギのべと病発生状況を調査しています】 (2020.6.2 発信)</p> <p>白ネギ栽培では、べと病(下の写真)が問題となっており、当チームでべと病対策の試験を行っています。 場内圃場において、散布する薬剤の違いにより発生程度がどの程度異なるか、定期的に発生状況を調査しています。</p>		農業研究部 病害虫対策チーム	0974-28-2078	2020.6.26
0611	農業研究部	<p>【リモートセンシングによる白ねぎの生育診断技術確立に向けて】 (2020.5.28 発信)</p> <p>農業研究部ではドローンを活用した白ねぎの迅速な生育診断技術開発を行っています。 5月22日に場内圃場に白ねぎを定植しました。今後撮影を行い、生育量や病虫害発生状況の判断に活用できるか検証します。</p>		農業研究部 土壌・環境チーム	0974-28-2072	2020.6.21

農林水産研究タイムリー情報

2021年5月7日時点

(合計334件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
0608	農業研究部	【一番茶の収穫時期を予測する研究をしています】 (2020. 5. 26 発信) カメラで撮影した画像を解析し、茶葉の成分を推定することにより、一番茶の摘採適期を簡易に判断する技術を開発しています。1番茶収穫まで13回撮影を続けました。現在、画像解析を進めているところです。		農業研究部 葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2020.6.21
0607	農業研究部	【ピーマンのTSWV抵抗性品種の特性を調査しています】(2020. 5. 26 発信) TSWV(トマト黄化えそウイルス)は多くの植物に被害を及ぼし、各地で問題になっています。ピーマンでは対策としてTSWV抵抗性品種が導入されつつあり、農業研究部では収量性や品質等を調査しています。		農業研究部 果菜類チーム	0974-28-2081	2020.6.21
0606	農業研究部	【ツマジロクサヨトウの発生状況調査中(畜産研究部圃場内)】(2020. 5. 26 発信) 2019年の大分県内でのツマジロクサヨトウ(広範囲な作物に被害を与える海外飛来性害虫)の発生は、飼料用トウモロコシで見られたため、畜産研究部の飼料作付用の圃場(豊後大野市)において、発生状況調査を始めました。11月まで調査を継続します。		農業研究部 病害虫対策チーム	0974-28-2078	2020.6.20
0605	農業研究部	【カンショの挿苗作業が最盛期です!】 (2020. 5. 26 発信) 農業研究部では県内で主に栽培されている高糖度カンショ「べにはるか」の栽培試験をしています。また独立行政法人農業研究機構が育成した新しい系統の収量・形状・食味等を調査し大分県に適したものがないかを調査します。		農業研究部 葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2020.6.20
0604	農業研究部	【現地ピーマン圃場でアザミウマの天敵を散布しました】(2020. 5. 26 発信) 化学農薬と天敵を組み合わせ、ピーマン栽培で問題となるアザミウマを抑え込めるか、試験を行っています。野津町の現地栽培圃場にて、アザミウマの天敵(スワルスキカブリダニ)を散布しました。		農業研究部 病害虫対策チーム	0974-28-2078	2020.6.19
0599	農業研究部	【海外飛来性害虫ツマジロクサヨトウの発生状況調査を行っています】(2020. 5. 21発信) 試験場内のほか、県内5地点にフェロモントラップ(写真上:雄成虫を捕らえる仕掛け、写真下:昨年9月に撮影した仕掛けにかかった成虫の参考画像)を設置して、ツマジロクサヨトウの誘殺数を調査しています。発生状況に応じて注意喚起を行い、被害軽減につなげています。		農業研究部 病害虫対策チーム	0974-28-2078	2020.6.19
		※ツマジロクサヨトウは、大分県内では昨年7月に初めて発生が確認された海外飛来性の害虫で、多くの作物を食害します。詳しくは農業研究部病害虫対策チームホームページをご覧ください。 (http://www.jppn.ne.jp/oita/byougaichuu/chuiho%20etc/tokushuhu/Tsumajiro.html)	(写真下)参考:昨年9月に撮影			
0598	農業研究部	【白ネギの二次育苗を開始しました】 (2020. 5. 21発信) 農業研究部では、独自に開発した大苗技術を用いて7月に定植し、年内の需要期に収穫する試験を行っています。播種1ヶ月後の苗の間隔を広げる作業を行いました。さらに1ヶ月半、育苗を続けて苗を大きくします。		農業研究部 葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2020.6.19
		※農業研究部ホームページに作業手順の説明動画がありますので、ご覧ください。 (http://www.pref.oita.jp/soshiki/15083/sironegi-ikubyou.html)				
0597	農業研究部	【冬ニラの育苗が始まります】 (2020. 5. 21発信) 農業研究部では大きく立派な冬ニラを作るための試験を行っています。試験に向けて、5月14日に播種を行いました。今後は2か月程度育苗し、7月に苗の植え付け深さを変える試験を行う予定です。		農業研究部 葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2020.6.13

農林水産研究タイムリー情報

2021年5月7日時点

(合計334件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
0591	農業研究部	<p>【小区画の水田が生まれ変わる ～基盤整備前の土壌断面調査～】 (2020. 5. 18発信)</p> <p>国東市綱井地区で水田の基盤整備が計画されており、着手前調査を土壌・環境チームが実施しました。ほ場で採取したコア（土壌を塊のまま抜き取った物）により土壌の水の通り易さを分析し、土壌改良の資料とします。</p>		農業研究部 土壌・環境チーム	0974-28-2072	2020.6.12
0590	農業研究部	<p>【イチゴ新品種開発のため、種播きを行いました！】 (2020. 5. 18発信)</p> <p>ポスト「ベリーツ（大分6号）」開発を目的に、79通りの交配組合せから採種した5,800粒の種子を播きました。養成した苗を9月に定植し、12月上旬から収穫開始時期や食味、外観等の評価・選抜を行います。</p>		農業研究部 果菜類チーム	0974-28-2081	2020.6.14
0581	農業研究部	<p>【ドローンを用いて一番茶の収穫時期を予測する研究に取り組んでいます】(2020. 5. 1 発信)</p> <p>農業研究部では、一番茶の摘採適期を簡易に判断する技術を開発しています。ドローンの空撮画像を解析して、茶葉の成分を推定するものです。収穫まで撮影を続け、データを蓄積していきます。</p>	 <p>撮影状況（上）と上空から見た茶園（下）</p>	農業研究部 葉根菜類・茶葉チーム	0974-28-2082	2020.5.31
0580	農業研究部	<p>【ピーマン害虫を天敵の力を借りて防除する試験を行っています】(2020. 5. 1発信)</p> <p>ピーマンでは化学農薬の効かないアザミウマが問題になっています。アザミウマの天敵を上手く活用し害虫の密度を下げようと、クレオメ(写真上)やソルゴー(写真下)といった植物を播種し、天敵昆虫を呼び込む現地試験を行っています。</p>		農業研究部 病害虫対策チーム	0974-28-2078	2020.5.31
0578	農業研究部	<p>【新規格肥料を用いたカンショの現地栽培試験が始まります】(2020. 4. 21発信)</p> <p>原料に堆肥を用いた新規格肥料「混合堆肥複合肥料」の現地試験に向けて、豊後大野市内の2圃場で施肥を行いました。この肥料は一般的な有機配合肥料より低コストで、資源循環型肥料として期待されています。</p>		農業研究部 土壌・環境チーム	0974-28-2072	2020.5.21
0577	農業研究部	<p>【白ネギ初夏どり作型の土寄せ作業を行いました】 (2020. 4. 17発信)</p> <p>大苗育苗技術を用い、年内に定植し5月～6月に収穫する白ネギ初夏どり作型の栽培試験を行っています。通常この時期は抽だい※が発生し品質を低下させますが、現在のところ抽だいの発生はほとんどみられていません。※「抽だい」とは、花が咲き品質が低下することです。「とうが立つ」ともいいます。</p>		農業研究部 葉根菜類・茶葉チーム	0974-28-2082	2020.5.17
0560	農業研究部	<p>【トマト苗の接木（つぎき）を行いました】 (2020. 4. 8発信)</p> <p>トマトの栽培試験に用いる苗を育てています。接木とは、病気に強い品種と、おいしい果実をつける品種の苗をそれぞれカッターで切って、チューブでつなぐ作業です。今年は高温対策や品種比較試験に取り組みます。</p>		農業研究部 果菜類チーム	0974-28-2081	2020.5.10
0559	農業研究部	<p>【ピーマン青枯病対策として高接木苗を定植しました】 (2020. 4. 8発信)</p> <p>ピーマン栽培では青枯病が問題であり、対策として接木苗が用いられています。通常より高い位置で接木する(写真右)ことで、さらに青枯病に強くなる育苗技術が国の試験場で新たに開発されたため、現地実証試験を開始しました。</p>		農業研究部 果菜類チーム	0974-28-2081	2020.5.10

農林水産研究タイムリー情報

2021年5月7日時点


(合計334件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
②水田農業グループ (計10件)						
0871	水田農業グループ	<p>【高精度衛星測位システム(RTK)の基準局を公開しました!】(2021.3.4発信)</p> <p>3/1に実施したスマート農業研究会にて、高精度衛星測位システムの基準局を公開しました。これにより、当所から半径約17km圏内で、インターネットを通して農業機械などに搭載された移動局(GNSS受信機)へ、リアルタイムに誤差数cmの高精度な補正情報の配信が可能となります。</p>		水田農業グループ 企画指導担当 又は 水田農業チーム	0978-37-1160	2021.4.5
0865	水田農業グループ	<p>【麦生育期間中の堆肥散布を実施中】(2021.2.22発信)</p> <p>近年県内平坦地で水田の地力低下が問題となっています。当グループでは水田の地力回復のため、生育中の麦の上から堆肥を散布する技術を開発しました。本年産の麦では県内約18haで現地実証試験が行われています。</p>		水田農業グループ 企画指導担当 又は 水田農業チーム	0978-37-1160	2021.3.31
0802	水田農業グループ	<p>【大豆原種を収穫しました!】(2020.11.27発信)</p> <p>大豆採種農家に供給する種子(原種)を収穫しました。今年は7月の長雨により播種時期が例年より遅くなりましたが、播種後の灌水作業を念入りに実施したことで、平年並みの収穫量が確保できました。良質な原種供給に向け、これから調製作業を行っていきます。</p>		水田農業グループ 企画指導担当 又は 水田農業チーム	0978-37-1160	2020.12.25
0726	水田農業グループ	<p>【稲原種の収穫が始まりました!】(2020.9.23発信)</p> <p>稲採種農家に供給する種子(原種)の収穫が始まりました。今回は「つや姫」を収穫しました。7月の豪雨や9月の台風10号にも負けず、見た目もキレイな原種を収穫できました。来月に収穫予定の「ヒノヒカリ」も最後までしっかり管理していきます。</p>		水田農業グループ 企画指導担当 又は 水田農業チーム	0978-37-1160	2020.10.30
0721	水田農業グループ	<p>【特定外来生物「アレチウリ」の生態を調査中】(2020.9.16発信)</p> <p>特定外来生物「アレチウリ」は関東以北の大豆や飼料畑で甚大な被害をもたらしている雑草です。水田農業グループでは温暖な九州でのアレチウリの生態を解明するため、環境省から許可を得てアレチウリを試験栽培中です。</p>		水田農業グループ 企画指導担当 又は 水田農業チーム	0978-37-1160	2020.10.16
0643	水田農業グループ	<p>【生育良好!大豆の早播栽培】(2020.6.24発信)</p> <p>多収かつ高品質であることに加え、早播栽培(6月上旬播き)に適する品種の選定試験を行っています。大分県では、梅雨明けの7月播きが一般的ですが、早播栽培は出芽と生育が良好となる栽培法として注目されています。今後は生育の経過や収量性について調査していきます。</p>		水田農業グループ 企画指導担当 又は 水田農業チーム	0978-37-1160	2020.7.30
0642	水田農業グループ	<p>【稲原種の田植えを行いました。】(2020.6.22発信)</p> <p>稲採種農家に供給する種子(原種)の田植えを行いました。今年は延べ1.5haの水田にて、2品種の原種を生産します(採種ほ約100ha分)。均一で高品質な原種の供給のため、これから秋の収穫まで随時ほ場に入り、異形株や病害株の除去作業を行います。</p>		水田農業グループ 企画指導担当 又は 水田農業チーム	0978-37-1160	2020.7.30
0603	水田農業グループ	<p>【水稻奨励品種選定試験の播種を行いました!】(2020.5.22発信)</p> <p>当グループでは大分県の気候や土壌条件に適した水稻品種を選定するための試験を行っています。今回は6月上旬の移植予定の播種を行いました。様々な品種があるため、1枚1枚丁寧に手播きで行っています。今後、移植時期に応じて、あと2回播種予定です。</p>		水田農業グループ 企画指導担当 又は 水田農業チーム	0978-37-1160	2020.6.30
0594	水田農業グループ	<p>【麦類原種の収穫が始まりました!】(2020.5.14発信)</p> <p>採種農家に供給する麦類の種子(原種)の収穫作業が始まりました。今年は暖冬の影響で麦の生育が早まったことから、例年よりも早く収穫が開始されました。これから6月上旬にかけ、合計4品種の種子を収穫します。</p>		水田農業グループ 企画指導担当 又は 水田農業チーム	0978-37-1160	2020.6.15

農林水産研究タイムリー情報

2021年5月7日時点

(合計334件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
0585	水田農業グループ	<p>【agribus-naviを利用したRTK測位の圃場実験】 (2020. 5. 8発信)</p> <p>宇佐市の場内圃場において、agribus-navi（農業機械や車両の直進作業をサポートするアプリ）を利用して、トラクターに取り付けたアンテナ・レシーバー（移動局）と中津市の県立工科短期大学の基準局を使ったRTK測位（測位精度を高める新たな手法）が可能であるか実験を行いました。ガイドラインに沿っての運転は慣れが必要ですが、測位が確定された状態での走行が可能であり、より精度の高い圃場管理につながることを期待されます。</p>		水田農業グループ 企画指導担当 又は 水田農業チーム	0978- 37-1160	2020.6.15

農林水産研究タイムリー情報

2021年5月7日時点

(合計334件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
③果樹グループ (計50件)						
0888	果樹グループ	<p>【ハウスブドウが花穂整形の適期を迎えました】 (2021. 3. 26発信)</p> <p>2月下旬に加温開始したハウスブドウが順調に発育し、花穂整形(不要な部分を取り除く作業)の適期を迎えました。例年に比べて新梢伸長が早いため管理作業に追われています。これから無核化処理(種ができないようにすること)、房作り、袋かけと、作業が絶え間なく続き、7月には収穫できる予定です。</p>		果樹グループ 落葉果樹チーム	0978-37-0149	2021.4.30
0882	果樹グループ	<p>【樹上完熟不知火「デコ330(サンマル)」の調査も大詰め!】 (2021. 3. 23発信)</p> <p>樹上で越冬完熟させて出荷する不知火(商品名「デコ330」)の試験で、今年度から透湿防水シートマルチ被覆とドリップ(点滴) 灌水を組み合わせたマルドリ栽培に取り組んでいます。これまでの調査の結果、慣行栽培より果実が大きくなり、収量も15%程度多くなる予定です。4月初めに収穫を予定しています。</p>		果樹グループ カボス・中晩柑チーム	0972-82-2837	2021.4.23
0881	果樹グループ	<p>【カンキツ新品種の幼苗をポットに移植】 (2021. 3. 23発信)</p> <p>シャーレ内で発芽させたカンキツ幼苗をポットに移植しています。これは「ゼリーオレンジ・サンセレブ」(大分県研4号)や「サンクイーン」(セミノール)の子供で大分県オリジナル品種候補です。今年度は470個体ほど作成しました。今後は果実の味や色、形、栽培のしやすさなどを調査し、この中から優れた品質のものを選抜していきます。</p>		果樹グループ カボス・中晩柑チーム	0972-82-2837	2021.4.23
0877	果樹グループ	<p>【モモ、ナシなど落葉果樹の開花が早まりそうです】 (2021. 3. 15発信)</p> <p>桜の開花宣言を前に、当チーム試験圃場のモモの花がほころびはじめました。ナシの「新高」も開きつつあり、全般的に今春の落葉果樹の開花は平年よりも1週間以上早まっています。開花時期に合わせた授粉作業や晩霜害への備えが必要です。</p>		果樹グループ 落葉果樹チーム	0978-37-0149	2021.4.16
0876	果樹グループ	<p>【キウイフルーツの予備試験が始まりました】 (2021. 3. 15発信)</p> <p>令和3年度から予備試験に取り組むキウイフルーツの苗木を2月下旬に当チームの試験圃場に定植したところ順調に生育し始めました。生産現場の要望に即した試験区を設け、これから数年かけて比較検討を行うことにしています。</p>		果樹グループ 落葉果樹チーム	0978-37-0149	2021.4.16
0872	果樹グループ	<p>【病害虫・育種の成果検討会を開催】 (2021. 3. 4発信)</p> <p>研究員の資質向上を図るため、果樹グループの全研究員が参加した病害虫と育種の検討会を3月3日に実施しました。活発な意見が多く出て情報共有が図れました。カンキツ病害虫の新たな防除体系の確立やカンキツ有望品種の育成が今後期待されます。</p>		果樹グループ 企画指導担当	0978-72-0407	2021.4.5
0858	果樹グループ	<p>【「おおいた早生」の無加温栽培試験が始まります】 (2021. 02. 15発信)</p> <p>「おおいた早生」を無加温ハウスで栽培し、収穫時期を早める試験を行っています。8月下旬の早期収穫に向け、ハウスビニールの被覆作業を行い、無加温栽培を開始しました。</p>		果樹グループ 温州ミカンチーム	0978-72-0407	2021.3.19
0854	果樹グループ	<p>【春節需要期に向けた貯蔵ブドウの品質調査】 (2021. 2. 8発信)</p> <p>当チームではブドウ「シャインマスカット」の長期貯蔵試験に取り組み、昨年9月に収穫した果実を冷蔵保管したところ春節需要期の2月上旬まで日持ちが良く、現在品質調査を行っています。これほど長期間貯蔵できたことは今まで無かったので、試験成果に期待が持てます。</p>		果樹グループ 落葉果樹チーム	0978-37-0149	2021.3.8

農林水産研究タイムリー情報

2021年5月7日時点

(合計334件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
0853	果樹グループ	<p>【由布市庄内町で流線型仕立ナシの剪定指導】 (2021. 2. 5発信)</p> <p>2月5日に当チームの研究員が流線型仕立ナシの剪定方法を指導するため由布市庄内町の現地を訪れました。3年前から順次定植した流線型仕立苗木が徐々に樹冠拡大しているため、新規就農者3名を対象に剪定や誘引の手順を実演しながら解説しました。</p>		果樹グループ 落葉果樹チーム	0978-37-0149	2021.3.8
0844	果樹グループ	<p>【ナシ改良流線型仕立は剪定時間の短縮が可能です】 (2021. 1. 29発信)</p> <p>果樹栽培では整枝剪定に多くの労力を必要とします。ナシの整枝剪定作業時間を調査した結果、当チームが開発した改良流線型仕立では従来の3本主枝仕立てに比べ48%の時間で済むことが判明しました。引き続き労力軽減につながる研究を進めてまいります。</p>		果樹グループ 落葉果樹チーム	0978-37-0149	2021.2.26
0838	果樹グループ	<p>【落葉果樹園の整枝剪定作業を進めています】 (2021. 1. 27発信)</p> <p>厳寒期とはいえウメの花がほころびはじめたこの時季、当チーム圃場では整枝剪定作業が急ピッチで進められています。本格的な開花期を迎える3月中旬までに6種類ある落葉果樹園約2.5ha全ての樹の剪定を仕上げようと、担当研究員が腕をふるっています。</p>		果樹グループ 落葉果樹チーム	0978-37-0149	2021.2.26
0819	果樹グループ	<p>【大分県果樹病害虫防除暦検討会が開催されました】 (2020. 12. 22発信)</p> <p>次年度の防除暦作成のため標記検討会が、JA職員、普及員、果樹グループ職員等参集のもと12月21日に大分市内で開催されました。作成された暦は生産者に配付され、病害虫防除に役立てられます。</p>		果樹グループ 温州ミカンチーム	0978-72-0407	2021.1.22
0818	果樹グループ	<p>【ハウス「不知火（デコボン）」を収穫調査中】 (2020. 12. 22発信)</p> <p>「不知火（デコボン）」を、「開花期加温栽培（開花期のみ加温することで燃料費を削減）」方法によりハウスで栽培しています。現在、収穫、調査中です。糖度が12.8度、クエン酸が1.2%程度になっています。クエン酸が1%を切ると出荷時期の目安となります。</p>		果樹グループ 温州ミカンチーム	0978-72-0407	2021.1.22
0809	果樹グループ	<p>【施設栽培用加温機メンテナンス研修会が開催されました】 (2020. 12. 8発信)</p> <p>12月8日、当チームのブドウ施設内で普及指導員と技能労務職員14名を対象に施設栽培用加温機のメンテナンス研修会を行いました。加温機製造メーカーの技術者が加温機の分解・点検・清掃作業を実演し、参加者は保守点検手順の理解を深めることができました。</p>		果樹グループ 落葉果樹チーム	0978-37-0149	2021.1.12
0806	果樹グループ	<p>【「完熟おいた早生」を収穫しました】 (2020. 12. 3発信)</p> <p>完熟栽培試験を行っていた「おいた早生」を11月下旬に収穫しました。糖度12度以上、酸0.8前後の高糖度果実が出来ました。しかし、「浮き皮」という身と皮が離れる症状が多く発生し、次年度の課題となりました。</p>		果樹グループ 温州ミカンチーム	0978-72-0407	2021.1.4
0805	果樹グループ	<p>【ハウス「ゼリーオレンジ」（大分果研4号）を収穫調査中】（2020. 12. 03発信）</p> <p>とろけるようなゼリー状の食感が特徴の「ゼリーオレンジ」（大分果研4号）を、ハウス内で栽培し、現在、収穫、調査中です。糖度が12度、クエン酸が1.0%程度になっています。</p>		果樹グループ 温州ミカンチーム	0978-72-0407	2021.1.4
0804	果樹グループ	<p>【ブドウ若手生産者栽培技術研修会が開催されました】 (2020. 12. 1発信)</p> <p>シャインマスカットなどブドウ生産に取り組む県内の若手生産者25名が参集し、12月1日、当チーム圃場でブドウ栽培技術研修会が開かれました。今回は圃場排水対策に焦点を当て、暗渠排水用資材を実際に埋設する状況を見学してもらい、参加者から好評を博しました。</p>		果樹グループ 落葉果樹チーム	0978-37-0149	2021.1.4

農林水産研究タイムリー情報

2021年5月7日時点

(合計334件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
0799	果樹グループ	<p>【ナシ流線型仕立剪定技術研修会が開催されました】 (2020. 11. 25発信)</p> <p>当チームで開発されたナシ流線型仕立栽培に取り組む生産者が増えているため、11月25日に当チームのナシ圃場で剪定技術研修会が行われました。 県内ナシ産地の若手生産者13名が参集し、ナシ担当研究員が実演を交えながら剪定の要点を分かりやすく説明しました。</p>		果樹グループ 落葉果樹チーム	0978-37-0149	2020.12.25
0790	果樹グループ	<p>【キウイフルーツの果実分析を行っています】 (2020. 11. 18発信)</p> <p>当チームでは根域制限栽培によるキウイフルーツの試験を行っており、11月上旬に収穫した果実を追熟させ、適熟果の品質調査を行っています。 県内ではキウイフルーツの栽培面積拡大が想定されており、当チームでも生産現場のニーズに対応した研究を進めることにしています。</p>		果樹グループ 落葉果樹チーム	0978-37-0149	2020.12.25
0764	果樹グループ	<p>【温州みかん研修会を開催】 (2020. 10. 28発信)</p> <p>10月27日に、温州ミカンチーム（国東市）において温州みかん研修会を開催しました。農協の指導員や振興局の職員など22名が集まり、「おおいた早生」の無加温ハウス栽培・樹上完熟栽培の試験結果や新しい浮皮軽減技術などについて室内研修を行いました。圃場研修では樹上完熟栽培への質問が相次ぎ研究員が要点をアドバイスしました。</p>		果樹グループ 企画指導担当	0978-72-0407	2020.11.30
0760	果樹グループ	<p>【ナシ白紋羽病対策の現地研修を実施しました】 (2020. 10. 20発信)</p> <p>若手普及指導員を対象としたナシ白紋羽病対策の現地研修を10月20日に由布市庄内町のナシ圃場で実施しました。 病害虫担当研究員が対処方法を説明し、罹病樹の根群域を掘りあげ、専用器具を用いて薬剤防除を実演しました。 現地での指導に役立ててもらいます。</p>		果樹グループ 落葉果樹チーム	0978-37-0149	2020.11.30
0759	果樹グループ	<p>【ナシ貯蔵病害の現地試験を開始しました】 (2020. 10. 16発信)</p> <p>日田市産の貯蔵用ナシで汚果病が問題になっているため現地試験を行うことになりました。ナシ担当研究員が収穫したナシ「新高」に消毒処理をしてからJA日田梨選果場の冷蔵庫に貯蔵し、12月以降に病害発生の有無を確認したうえで今後の防除対策を検討します。</p>		果樹グループ 落葉果樹チーム	0978-37-0149	2020.11.30
0758	果樹グループ	<p>【ブドウかすり症対策のための現地試験を検討しました】 (2020. 10. 12発信)</p> <p>宇佐市安心院町のブドウ生産者から「シャインマスカット」のかすり症対策について相談があり、現地検討を行いました。当該ブドウ圃場の土壌診断結果に基づき現状の樹体を観察しながら、今後必要な試験方法について生産者とブドウ担当研究員ら関係者が打合せしました。</p>		果樹グループ 落葉果樹チーム	0978-37-0149	2020.11.30
0736	果樹グループ	<p>【ワイン用ブドウの仕込みが行われました】 (2020. 10. 5発信)</p> <p>当グループでは宇佐市の酒造会社と協力して新たなワイン用ブドウの共同研究に取り組んでいます。 9月下旬から10月上旬にかけて安心院町にある同社のワイン製造工場で本年産ブドウの仕込みが行われました。 12月までにワインの試作品ができあがる予定です。</p>		果樹グループ 落葉果樹チーム	0978-37-0149	2020.11.10
0713	果樹グループ	<p>【「おおいた早生」の完熟栽培試験を行っています】 (2020. 9. 4発信)</p> <p>通常9月に収穫する「おおいた早生」を11月まで樹上におく（完熟栽培）ことで、高糖度で食味良好な果実を生産する試験を行っています。完熟栽培で問題となる「浮き皮」を抑制するため試験を実施しています。</p>		果樹グループ 温州ミカンチーム	0978-72-0407	2020.10.30
0716	果樹グループ	<p>【県なし・ぶどう合同品評会の審査を研究員が担当しました】 (2020. 9. 12発信)</p> <p>大分市の商業施設で9月12日に開催された県なし・ぶどう合同品評会で、当グループの研究員と市場流通関係者が審査を担当しました。 県内各産地のなし「あきつき」37点、ぶどう「シャインマスカット」32点の中から特に品質の優れたものが入賞を果たし、一般来店者の注目を集めていました。</p>		果樹グループ 落葉果樹チーム	0978-37-0149	2020.10.15

農林水産研究タイムリー情報

2021年5月7日時点

(合計334件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
0711	果樹グループ	<p>【ナシ・ブドウ新系統の食味検討会を開催しました】 (2020. 8. 28発信)</p> <p>当チームでは農研機構から委託されたナシ6系統、ブドウ4系統の栽培試験を行っています。 今年全ての系統が初結実したことから、果樹グループの研究者が集まり、糖度や食感などの食味検討を行いました。 この中から将来有望な品種が誕生することを期待しています。</p>		果樹グループ 落葉果樹チーム	0978-37-0149	2020.9.30
0709	果樹グループ	<p>【ブドウの有望品種を生産者に説明しました】 (2020. 8. 25発信)</p> <p>当チーム圃場では24種類のブドウを栽培しており、順次収穫適期を迎えています。8月20日に日田市大山町の生産者等7名、8月25日に宇佐市安心院町の生産者等4名が視察に訪れ、担当研究者が将来有望な新品種の特徴を説明しました。</p>		果樹グループ 落葉果樹チーム	0978-37-0149	2020.9.30
0708	果樹グループ	<p>【転炉スラグを用いたブドウ栽培試験を開始しました】 (2020. 8. 24発信)</p> <p>当チームでは今年度より土壌・環境チームと共同で転炉スラグを用いたブドウ栽培試験に取り組みはじめました。 2月にスラグを混和した土壌に定植したブドウの苗木が順調に生育し骨格枝を誘引している最中です。今後、生育調査等を進めていきます。</p>		果樹グループ 落葉果樹チーム	0978-37-0149	2020.9.30
0707	果樹グループ	<p>【ナシの日焼け果に注意が必要です】 (2020. 8. 24発信)</p> <p>当チーム圃場では今まさにナシの収穫最盛期ですが、連日の強烈な日差しにより赤茶色に日焼けした果実が散見されるようになりました。 放置すると果実が熟しすぎて軟化が早まるので、収穫適期を逃さないようにすることが大切です。</p>		果樹グループ 落葉果樹チーム	0978-37-0149	2020.9.30
0695	果樹グループ	<p>【旬入り間近！カボスの果実品質調査を実施しました】 (2020. 8. 7発信)</p> <p>品質の良い「大分かぼす」を提供するため、7/27に関係機関が県下各産地から果実を持ち寄り、共同で品質調査を行いました。果実肥大は良好で、平年に比べて果汁量も多くなっています。いよいよ、「大分かぼす」のシーズン到来です。</p>		果樹グループ カボス・中晩柑チーム	0972-82-2837	2020.9.7
0686	果樹グループ	<p>【「垣根仕立て」ハウスみかんの整枝・剪定研修会を杵築市で行いました】 (2020. 7. 30 発信)</p> <p>7月27日に、今年初めて収穫した「垣根仕立て」園で整枝・剪定に関する研修会を行いました。 作業のしやすさや来年度の収穫量確保に向け、生産者や技術者と意見交換しながら、技術のブラッシュアップを図っています（※垣根仕立て：栽培の省力化・収穫量の増加を目的に大分県が開発した技術）。</p>		果樹グループ 温州ミカンチーム	0978-72-0407	2020.8.31
0679	果樹グループ	<p>【果樹園のカメムシ類の発生が平年より多くなっています】 (2020. 7. 21発信)</p> <p>病害虫担当研究員の巡回調査によると、7月に入り県内果樹産地や当グループ圃場においてカメムシ類が例年に比べて多く発生しています。 農業研究部病害虫対策チームと連携しながら、果樹生産者等に注意喚起情報を提供することになっています。</p>		果樹グループ 落葉果樹チーム	0978-37-0149	2020.8.31
0678	果樹グループ	<p>【ブドウの2段仕立て栽培を果樹生産者に説明】 (2020. 7. 20発信)</p> <p>本年度新規課題として研究を開始した2段仕立て栽培のブドウ苗木が春から成長をはじめ、骨格枝となる上段と下段の主枝が順調に伸長しています。 7月20日に中津市からブドウ生産者9名が視察に訪れ、ブドウ担当研究員が新たな試験内容を説明しました。</p>		果樹グループ 落葉果樹チーム	0978-37-0149	2020.8.31
0677	果樹グループ	<p>【若手生産者のためのナシ流線型仕立研修会開催】 (2020. 7. 17発信)</p> <p>当グループが開発したナシ流線型仕立の研修会が7月17日に開催され、日田市や庄内町など県内ナシ産地の若手生産者34名が当グループ圃場に集まりました。 ナシ担当研究員が生育中の結実状況を説明しながら栽培の要点をアドバイスしました。</p>		果樹グループ 落葉果樹チーム	0978-37-0149	2020.8.31

農林水産研究タイムリー情報

2021年5月7日時点

(合計334件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
0650	果樹グループ	<p>【若手普及指導員にブドウの緑枝接ぎを指導】 (2020. 6. 24発信)</p> <p>ブドウの新梢が伸長し、緑枝接ぎによる品種更新が可能な時期になりました。ブドウ担当研究員の実技指導を手本にしながうまく活着することを願いつつ若手普及指導員が接ぎ木実習をしています。</p>		果樹グループ 落葉果樹チーム	0978-37-0149	2020.7.31
0649	果樹グループ	<p>【スモモの収穫時期を迎えています】 (2020. 6. 24発信)</p> <p>さわやかな酸味が特徴的なスモモの収穫適期を迎えました。当グループの圃場には「大石早生」「ハニーローザ」「ソルダム」など10種類のスモモが植栽されています。収穫した果実の品質や収穫量のデータを収集し、試験成績としてまとめます。</p>		果樹グループ 落葉果樹チーム	0978-37-0149	2020.7.31
0648	果樹グループ	<p>【モモの薬剤散布試験を行っています】 (2020. 6. 24発信)</p> <p>梅雨期の晴れ間を逃さず病害虫担当研究員が完全装備でモモ灰星病予防のための農薬散布を行っています。6月から8月にかけては農薬危害防止運動期間です。農薬の適正使用を守りながら様々な薬剤散布試験を実施しています。</p>		果樹グループ 落葉果樹チーム	0978-37-0149	2020.7.31
0634	果樹グループ	<p>【「垣根仕立て」ハウスみかんの収穫開始】 (2020. 6. 16発信)</p> <p>温州ミカンチームでは、本県が開発した「垣根仕立て」で栽培したハウスみかんの収穫を6月4日から始めました。作業のための通路が十分確保されているので、台車等が利用でき、収穫・運搬等の（作業）労力を軽減することができます。</p>		果樹グループ 温州ミカンチーム	0978-72-0407	2020.7.16
0633	果樹グループ	<p>【ハウスみかんの「最適」かん水量は？】 (2020. 6. 16発信)</p> <p>ハウスみかんの「最適な」かん水量を明らかにする目的で、樹体の水分吸収量を調査しています。調査結果をもとにして天候に左右されず安定して美味しいみかんを生産する方法について明らかにしていきます。</p>		果樹グループ 温州ミカンチーム	0978-72-0407	2020.7.16
0627	果樹グループ	<p>【ハウスみかんでの自走式防除機の研修会を開催】 (2020. 6. 8 発信)</p> <p>果菜類で実用化されている自走式防除機の研修会を生産者や普及員等を対象に、令和2年6月17日（水）10：30～果樹グループ（国東市）で開催します。これは、当グループで開発した「ハウスミカンの垣根仕立て」での有効性を明らかにするためのものです。</p>		果樹グループ 企画指導担当	0978-72-0407	2020.7.8
0623	果樹グループ	<p>【中晩柑向け「マルドリ方式」の導入試験を開始】 (2020. 6. 4 発信)</p> <p>県南地域の中晩柑栽培では、樹勢低下による収量減少が問題となっています。そこで、シートマルチ被覆と点滴かん水、液肥施用により、適度な水分ストレスを与え高品質果実生産を行う「マルドリ方式」を、県オリジナル品種「大分果研4号」や完熟「不知火」に導入するための試験を開始します。</p>		果樹グループ カボス・中晩柑チーム	0972-82-2837	2020.6.30
0622	果樹グループ	<p>【カボス種なし新品種「大分果研6号」の現地試験圃場を設置】 (2020. 6. 4 発信)</p> <p>品種登録申請中のカボス種なし新品種「大分果研6号」の現地審査が昨年より始まっていますが、登録後の速やかな産地拡大のため、県内数カ所に苗木を配付して現地試験圃場を設置しました。今後、数年間かけて現地適応性について調査します。</p>		果樹グループ カボス・中晩柑チーム	0972-82-2837	2020.6.30
0610	果樹グループ	<p>【キウイフルーツの人工授粉作業中です】 (2020. 5. 26発信)</p> <p>キウイフルーツが満開期を迎え、担当研究員が人工授粉作業に追われています。今年は4月の低温により開花時期が平年よりも数日遅れています。他の落葉果樹と合わせて開花状況を6月上旬までに大分県庁HP上で公開する予定です。</p>		果樹グループ 落葉果樹チーム	0978-37-0149	2020.6.26

農林水産研究タイムリー情報

2021年5月7日時点

(合計334件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
0609	果樹グループ	<p>【ブドウ花穂整形作業を新任普及指導員に指導しました】(2020.5.26発信)</p> <p>ブドウの満開期が近づき花穂整形が佳境を迎えています。これは短期間に正確に行わなければならないブドウでは必須の作業です。担当研究員が新任普及指導員に作業のポイントを丁寧に指導しました。</p>		果樹グループ 落葉果樹チーム	0978-37-0149	2020.6.26
0570	果樹グループ	<p>【ハウスブドウの無核大粒化処理作業中です】(2020.4.22発信)</p> <p>露地栽培より1か月以上も早く、加温ハウスブドウが無核大粒化のためのジベレリン処理2回目適期を迎えています。ブドウ担当研究員が、小豆粒ほどに肥大したシャインマスカット果房にジベレリン水溶液浸漬処理を手際よく施している最中です。</p>		果樹グループ 落葉果樹チーム	0978-37-0149	2020.5.22
0569	果樹グループ	<p>【ナシ病害虫発生予察で園地巡回しています】(2020.4.22発信)</p> <p>ナシの開花が終わり展葉・新梢伸長期に入りました。病害虫担当の研究員が毎月1回その月の下旬に県内ナシ産地の園地巡回を行い、黒星病など主要病害や虫害の発生状況を観察しています。調査結果は病害虫対策チームから公表されることになっています。</p>		果樹グループ 落葉果樹チーム	0978-37-0149	2020.5.22
0558	果樹グループ	<p>【越冬完熟不知火「デコ330(サンマル)」の収穫調査を行いました】(2020.4.7発信)</p> <p>樹上で越冬完熟させて出荷する不知火(商品名「デコ330」)を4月2日に収穫し、樹ごとの収量や階級割合、果実品質を調査しました。今年は天候に恵まれて糖度が高く、食味も良好です。今後は、新梢量や着花量の調査を行います。</p>		果樹グループ カボス・中晩柑チーム	0972-82-2837	2020.5.7
0556	果樹グループ	<p>【無加温ハウスの「おおいた早生」が開花を迎えています】(2020.04.06発信)</p> <p>「おおいた早生」を無加温ハウスで栽培し、収穫時期を早める試験を行っています。現在、露地栽培に比べ約1か月早く開花が始まり、このまま順調に生育が進めば8月下旬には収穫出来そうです。</p>		果樹グループ 温州ミカンチーム	0978-72-0407	2020.5.7
0555	果樹グループ	<p>【カンキツの生態(発芽期・開花期)調査開始】(2020.04.06発信)</p> <p>温州ミカンチーム、カボス・中晩柑チームでは、カンキツ主要品種の発芽状況を調査中です(右写真)。今後は、開花状況についても調査を実施し、結果は果樹グループホームページに掲載します。</p>		果樹グループ 温州ミカンチーム カボス・中晩柑チーム	0978-72-0407 0972-82-2837	2020.5.7

農林水産研究タイムリー情報

2021年5月7日時点

(合計334件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
④花きグループ (計70件)						
0884	花きグループ	<p>【風船で飛んできた金魚草の花が咲いています】 (2021. 3. 25発信)</p> <p>昨年10月に福岡県の宇美東小学校にて町制100周年記念のバルーンリリースが行われ、金魚草の種が風船に付けられて当グループまで飛んできました。 今、可愛い花が咲いており大切に育てています。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2021.4.26
0880	花きグループ	<p>【ホオズキの染色体を調査しています】 (2021. 3. 19発信)</p> <p>県内のホオズキ産地では実や葉が奇形となり実付きの悪い株が発生し問題となっています。 原因解明のために、顕微鏡で根の細胞を観察して染色体の数が正常か調査しています。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2021.4.16
0873	花きグループ	<p>【スプレーギクの開花が始まりました】 (2021. 3. 10発信)</p> <p>輪ギクの栽培では芽摘み作業が多いため、芽摘み作業の不要なスプレーギクの導入が増加しています。 11月に定植した5品種のスプレーギクが現在開花時期を迎えており、切り花品質を調査して県内に適した品種を選定する予定です。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2021.3.31
0855	花きグループ	<p>【2月14日はフラワーバレンタイン!】 (2021. 2. 10発信)</p> <p>花きグループの温室では、スイートピーが順調に生育し、これから開花最盛期を迎えますが、送別会等の自粛ムードで需要の落ち込みが懸念されます。このため、現在生産者と関係機関が一体となって消費拡大に取り組んでいます。 フラワーバレンタイン等をおとして花を贈る習慣が浸透していくことを期待しています。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2021.2.26
0848	花きグループ	<p>【ストックの開花が始まります】 (2021. 2. 2発信)</p> <p>ストックは同じ種子の中に一重に咲くものと、八重に咲くもののが混ざっています。八重に咲く方が高く売れるので、苗の時にわずかな違いを見分けて一重の苗を取り除きます。 「八重鑑別」という非常に難しい技術です。 当グループで「八重鑑別」したストックが、これから開花しますので、2月中には鑑別結果が出る予定です。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2021.2.26
0847	花きグループ	<p>【カエンボクの開花が始まりました】 (2021. 1. 29発信)</p> <p>当グループの展示温室には約150種の熱帯植物があり一般公開しています。現在、世界3大花木と言われる「カエンボク」の開花が始まりました。樹高を低く管理しているため開花数は少ないですが、2月中旬頃まで燃える炎のような花が楽しめます。</p>		花きグループ 企画指導担当	0977-66-4706	2021.2.26
0846	花きグループ	<p>【県立農業大学校の学生が校外研修で訪れました】 (2021. 1. 29発信)</p> <p>同校の花きコースの校外研修が当グループで行われ、試験中のキクやスイートピー等について研修しました。 学習した花の品種や栽培管理について、今後のプロジェクト活動に活かして欲しいと思います。</p>		花きグループ 企画指導担当	0977-66-4706	2021.2.26
0845	花きグループ	<p>【花の染色方法を検討しています】 (2021. 1. 29発信)</p> <p>スイートピーやハボタンでは、染色によって生花にはない新たな色彩の花が販売されています。 現在、農業大学校と連携して新たな色合いやグラデーション等の染色方法を検討しています。普及員等の声も参考にしながら、新たな商品を提案する予定です。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2021.2.26

農林水産研究タイムリー情報

2021年5月7日時点

(合計334件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
0842	花きグループ	<p>【高校生がトルコギキョウの学習成果を発表】 (2021. 1. 28発信)</p> <p>本年度、久住高原農業高校と連携して草花専攻の生徒にトルコギキョウ等の栽培管理を指導してきました。この程、同高校主催の学習成果発表会にて、生徒がトルコギキョウに関する研究成果を発表しました。 来年度も継続して同高校と技術交流を行う予定です。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2021.2.26
0841	花きグループ	<p>【花きの専門技術研修を開催】 (2021. 1. 28発信)</p> <p>本年度花き担当となった普及指導員や農協の営農指導員を対象に3日間の研修が開催されました。 スイートピーの栽培管理や土壌消毒方法について、実習を交えて指導しました。 今後各地域での技術の活用が期待されます。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2021.2.26
0835	花きグループ	<p>【大分フラワーフェスティバル冬が開催されました】 (2021. 1. 22発信)</p> <p>1月16日、17日に大分県花き産業振興協議会主催で、花の産業及び文化の振興を目的に本イベントが開催されました。会場は旬の花の色と香りに包まれ、生け花展やフラワーアレンジ教室、デモンストレーション等に多数の参加がありました。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2021.2.10
0834	花きグループ	<p>【ロウバイ（蠟梅）から香料を作成しています】 (2021. 1. 15発信)</p> <p>大分県では、県産品由来の天然香料等の商品開発による地域活性化等のために小川香料株式会社と「香りの連携協定」を締結しています。 昨年、当グループのロウバイから香料が作成できたことから本年も更に開発を進める計画で、現在の開花状況や花の香りを同社と確認しました。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2021.2.10
0832	花きグループ	<p>【スイートピーの電照試験をしています】 (2021. 1. 13発信)</p> <p>スイートピーは冬季の曇天による日照不足で花が落ち、品質が低下します。現在、その対策としてLEDを早期に点灯することで花落ちが軽減できないか試験をしています。 冬期の間点灯し、効果を確認する予定です。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2021.2.10
0825	花きグループ	<p>【イチゴのウイルスフリー苗を提供しました。】 (2020. 12. 23発信)</p> <p>花きグループでは本県が育成したイチゴの苗をウイルスフリー化し、無菌的に培養して保存しています。 この程、イチゴの育種をしている農業研究部にフリー苗を提供しました。 「ベリーツ」に次ぐ新しい品種の育成が期待されます。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2021.1.29
0824	花きグループ	<p>【スイートピーの染色をしています。】 (2020. 12. 21発信)</p> <p>スイートピーの花色の種類を増やすために染色をしています。 白色の花を染色液に18時間程浸けると生花にはない色合いに染まります。 現在、日持ちに影響しない染色方法を検討中です。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2021.1.29
0816	花きグループ	<p>【ハボタンの収穫が始まりました】 (2020. 12. 18発信)</p> <p>水稲育苗苗箱を利用した少量増地栽培のハボタンが順調に生育しています。現在鮮やかに色付き、収穫時期を迎えています。 現地でも正月用の切り花として生産が増加しています。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2021.1.22

農林水産研究タイムリー情報

2021年5月7日時点

(合計334件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
0833	花きグループ	<p>【大分県花き展の審査を行いました】 (2021. 1. 15発信)</p> <p>1月15日に大分県主催による「第63回大分県花き展」が開催され、生産者から出品されたキクやスイートピーなど約240点の県産花きを審査しました。16日、17日に開催される「大分フラワーフェスティバル冬」にて一般公開されますので、iichiko総合文化センターには是非お越しください。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2021.1.18
0812	花きグループ	<p>【スイートピーが採花時期となりました】 (2020. 12. 4発信)</p> <p>9月に定植したスイートピーが順調に生育しており、本格的な採花時期となりました。来春まで品質や出荷本数を調査し、省力的な系統の育成や出荷量向上技術の確立を行います。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2021.1.12
0811	花きグループ	<p>【シンクロトロン光の照射試験を行いました】 (2020. 12. 3発信)</p> <p>九州シンクロトロン光研究センターにて、電磁波の一つであるシンクロトロン光をキクとわい性トルコギキョウに照射しました。今後突然変異の発現を確認して、照射した約2000個体の中から花色や形質の優良な系統を選抜する予定です。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2021.1.12
0810	花きグループ	<p>【試験研究アドバイザー会議を開催しました】 (2020. 11. 26発信)</p> <p>11月26日に標記会議を開催し、大学の先生等から来年度の新規課題や試験中の課題に対して専門的意見をいただきました。今後意見を参考に目標達成に向けて試験を実施していきます。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2021.1.12
0792	花きグループ	<p>【色鮮やかなシクラメンが満開です】 (2020. 11. 20発信)</p> <p>当グループのハウスでは、今年1月に播種したシクラメンが順調に生育し、現在赤や白、ピンク等の鮮やかな色に一面彩られています。12月まで販売もしていますので、お求めの際は当グループまでお越しください。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2020.12.25
0791	花きグループ	<p>【久住高原農業高校と技術交流を行っています】 (2020. 11. 20発信)</p> <p>久住高原農業高校の草花専攻の生徒が視察に訪れ、トルコギキョウの品種選定や少量培地栽培について技術指導を行いました。来年も夏作型のトルコギキョウの栽培で連携する予定で、今後も技術交流を深めていきます。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2020.12.25
0788	花きグループ	<p>【冬場の品目として有望なハボタンが順調です】 (2020. 11. 17発信)</p> <p>水稲育苗苗箱を利用した省力的で簡易な少量培地でハボタンを栽培しています。現地での栽培は拡大傾向で、生産者も相談に来所されています。8月に所内に定植したハボタンは正月用の切り花として12月に採花予定です。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2020.11.30
0780	花きグループ	<p>【常時一般開放中の観賞温室にお越しください】 (2020. 11. 9発信)</p> <p>当グループには温泉の熱を暖房に利用した観賞温室があり、約150種の熱帯植物の花や緑を楽しむことができます。毎年2000人を超える来館があり、近くの観光地に来た際には是非お立ち寄りください。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2020.11.30
0779	花きグループ	<p>【コウヨウザン（広葉杉）を調査しました】 (2020. 11. 5発信)</p> <p>林業研究部がコウヨウザンの生産と育林の技術開発を実施することから、花きグループの植物園にて本樹の採種調査を行いました。コウヨウザンは杉と同等の材質で生長が早いことから注目されています。</p>		花きグループ 企画指導担当	0977-66-4706	2020.11.30

農林水産研究タイムリー情報

2021年5月7日時点

(合計334件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
0775	花きグループ	<p>【カンキツの品種識別技術を確立しています】 (2020. 11. 4発信)</p> <p>大分県が育成したカンキツ品種「大分果研4号」の権利を保護するために他の品種と識別する必要があります。このため、葉から遺伝子を抽出して遺伝子の違いによる品種識別技術を確立します。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2020.11.30
0774	花きグループ	<p>【輪ギクの新しい品種を育成しています】 (2020. 11. 4発信)</p> <p>突然変異育種により新しい色やわき芽の少ない輪ギクを作出する試験に取り組んでいます。8月に定植した約1400株が開花時期を迎えており、今後、品質や特徴を調査して一次選抜を行います。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2020.11.30
0771	花きグループ	<p>【大分中学校の生徒が校外研修に訪れました②】 (2020. 10. 30発信)</p> <p>10月29日更新の農林水産研究タイムリー情報に、「大分中学校の生徒が校外研修に訪れました」(整理番号0767)と掲載しましたところ、翌日早速、同校のHPとFaceBookにも研修の様子が掲載されました。研修を通じて交流が深まり、生徒さんが花の栽培など大分県の農林水産業に興味を持つきっかけになることを期待しています。</p>	 研究員の説明を熱心に聞く生徒さん	花きグループ 企画指導担当	0977-66-4706	2020.11.30
0767	花きグループ	<p>【大分中学校の生徒が校外研修に訪れました】 (2020. 10. 29発信)</p> <p>10月23日に同校の生徒86名が再生可能エネルギーをテーマに研修に訪れました。温泉蒸気を温室暖房に活用した花の栽培や、IoTを活用したスマート農業ハウス等に非常に興味を持っていました。熱心に質問しており、将来が楽しみです。</p>		花きグループ 企画指導担当	0977-66-4706	2020.11.30
0763	花きグループ	<p>【トルコギキョウの品種選定試験をしています。】 (2020. 10. 28発信)</p> <p>8月に定植した28品種のトルコギキョウが順次開花しています。今後、品質や収量を調査し、県内の秋冬期出荷栽培に適した品種を選定していきます。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2020.11.20
0762	花きグループ	<p>【スプレーギクの開花が始まりました】 (2020. 10. 28発信)</p> <p>輪ギクの需要期ではない10月に合わせて出荷できるスプレーギクの品種を選定しています。7月に定植した5品種のスプレーギクが現在開花時期を迎えており、切り花品質を調査して栽培しやすい品種を選定します。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2020.11.20
0754	花きグループ	<p>【大分県東京事務所と坐来大分にホオズキを飾りました】 (2020. 10. 20発信)</p> <p>東京事務所の協力により、同所情報館と坐来大分に当グループのホオズキを飾りました。お盆以外の活用方法として、東京でも県産ホオズキをPRしていきます。尚、ピーコンプラザでも、アマビエとホオズキを11月1日まで延長して展示しています(タイムリー情報整理番号0741参照)。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2020.10.30
0749	花きグループ	<p>【農業文化公園のコキアの防除指導をしました】 (2020. 10. 16発信)</p> <p>昨年、同公園のコキアは病害等で生育に影響がありました。今年は、栽培前に排水対策や品種選定を行い、栽培初期から病害診断と防除対策を重ね、現在きれいに紅葉しています。是非ともご覧ください。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2020.10.30
0743	花きグループ	<p>【ホオズキの奇形株の原因を調査しています】 (2020. 10. 12発信)</p> <p>県内のホオズキ産地では、実や葉が奇形となる実付きの悪い株の発生が問題になっています。発生軽減のために、採種方法や育苗方法を検討しています。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2020.10.30

農林水産研究タイムリー情報

2021年5月7日時点

(合計334件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
0742	花きグループ	<p>【輪ギクの育種を行っています】 (2020.10.12発信)</p> <p>わき芽を摘んで輪ギクを1花に仕立てています。作業負担が大きく時間がかかる作業です。突然変異育種によりわき芽の少ない品種を作出する試験をしています。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2020.10.30
0741	花きグループ	<p>【フラワーアートをご覧ください】 (2020.10.12発信)</p> <p>大分県花き産業振興協議会がアマビエをモチーフに製作しました。当グループからもホオズキを提供し彩りを添えています。10月14日まで展示していますので、ピーコンプラザまでお越しください。ホオズキの新しい活用法については当グループへご相談ください。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2020.10.30
0740	花きグループ	<p>【スイートピーの芽が出てきました】 (2020.10.8発信)</p> <p>9月上旬にスイートピー24系統を定植しました。収量向上や省力化品種育成の試験をします。12月下旬から開花の予定です。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2020.10.30
0739	花きグループ	<p>【スプレーギクの品種選定をしています】 (2020.10.8発信)</p> <p>7月に定植した5品種のスプレーギクが順調に生育しています。10月下旬から開花の見込みで、輪ギクの単体の安い時期に出荷できる品種を選定する予定です。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2020.10.30
0730	花きグループ	<p>【イチゴのウイルスフリー苗の培養を行っています】 (2020.10.1発信)</p> <p>当グループのバイオ部門では、本県が育成したイチゴ「ベリーツ」の苗をウイルスフリー化し、無菌的に保存しています。定期的に新しい培地に移し替えて維持しており、必要に応じて供給しています。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2020.10.30
0729	花きグループ	<p>【佐伯豊南高校にスイートピーを提供しました】 (2020.10.1発信)</p> <p>本年度から佐伯豊南高校食農ビジネス科のスイートピーの栽培を支援しており、9月末に当グループの苗を提供しました。近日中に定植の予定で、今後も栽培管理を支援していきます。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2020.10.30
0728	花きグループ	<p>【害虫の発生調査をしています】 (2020.10.1発信)</p> <p>農作物の害虫であるハスモンヨトウをフェロモン剤で誘引して、その数を毎日調査しています。今年も9月から多くなっていますので注意が必要です。毎年秋は大豆や野菜でも被害が発生します。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2020.10.30
0715	花きグループ	<p>【久住高原農業高校と栽培技術交流を行っています。】(2020.9.11発信)</p> <p>久住高原農業高校と連携して高標高地に適したトルコギキョウの品種選定を行っています。土耕栽培と少量培地栽培(写真)を行っており、6月下旬に提供した苗が9月中旬に開花を迎えようとしています。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2020.9.30
0712	花きグループ	<p>【植物の品種識別を行っています】 (2020.9.4発信)</p> <p>当グループのバイオ部門では、水稻の原々種生産で品種の純度維持やイチゴ「ベリーツ」などの本県が育成した品種の保護のために、品種の識別を行っています。主にPCRを使用して遺伝子の配列の違いから識別を行います。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2020.9.30

農林水産研究タイムリー情報

2021年5月7日時点

(合計334件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
0703	花きグループ	<p>【少量培地栽培で周年栽培をしています】 (2020. 8. 21発信)</p> <p>水稲用苗箱を利用して省力的で簡易な少量培地栽培に取り組んでいます。 5～6月にラークスパーを、7～8月にヒマワリを収穫し、現在ハボタンを定植しています。12月～正月に収穫する予定で、年間を通じて適期に収穫できる花の周年栽培を目指しています。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2020.8.30
0702	花きグループ	<p>【キクを定植しました。】 (2020. 8. 21発信)</p> <p>突然変異処理により新たな品種の輪ギクを作成する試験に取り組んでいます。 変異を誘発させる処理を行った約1400株を8月11～12日に定植しました。開花する10月頃に品質や特徴を調査して一次選抜を行います。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2020.8.30
0700	花きグループ	<p>【キクの定植準備中です】 (2020. 8. 11発信)</p> <p>人工的に誘発した突然変異により、新しい色やわき芽の無い輪ギクの品種を作成する試験に取り組んでいます。 現在、定植用の隔離ベンチの準備をしており、処理を行った1000株以上の株を近々定植予定です。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2020.8.31
0694	花きグループ	<p>【旧盆用の小ギクの開花が始まりました】 (2020. 8. 5発信)</p> <p>小ギクの需要期である新盆(7月)、旧盆(8月)、彼岸(9月)の適期出荷に向けて、電照による開花時期調節を行っており、現在、旧盆用の小ギクがちょうど開花時期を迎えています。 彼岸の時期にも適期に開花するよう管理を行っています。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2020.8.10
0693	花きグループ	<p>【ホオズキの販売が始まりました】 (2020. 8. 5発信)</p> <p>4月に場内に定植したホオズキが赤く色付き、収穫の時期を迎えました。今年は試験課題の関係で、例年より収穫本数は少なくなっていますが、多くの一般の方が来場し、購入いただいています。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2020.8.10
0690	花きグループ	<p>【大分農業文化公園にてホオズキの収穫体験開催】 (2020. 8. 1発信)</p> <p>今年度は大分農業文化公園と連携して公園内にホオズキを植えました。 8月1日、2日に収穫体験のイベントが開催され、参加した親子はたくさん赤い実が付いたホオズキを楽しそうに収穫していました。直売コーナーも併せて大盛況となりました。</p>		花きグループ 企画指導担当	0977-66-4706	2020.8.10
0689	花きグループ	<p>【花きの専門技術研修開催】 (2020. 7. 31発信)</p> <p>本年度花き担当となった普及指導員や農協の営農指導員を対象に3日間の研修が開催されました。 キクやスイートピー、トルコギキョウ等の栽培管理や花きの病害虫診断について実技を交えて指導をしました。 興味を持って受講しており、今後の活躍が期待されます。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2020.8.10
0668	花きグループ	<p>【ホオズキの収穫体験に向けて準備中です。】 (2020. 7. 15発信)</p> <p>大分農業文化公園内に定植した約7,000本のホオズキが現在70cm程に生長し、1株10個程着果しています。8月上旬に赤く色付くように、現在生育状況などの管理を行っていますので、収穫体験に是非お越しください。 イベントの内容については同公園のホームページをご覧ください(トップページ「コキアガーデン登場!」の画像をクリックすると情報が掲載されています)。 (https://www.oita-agri-park.or.jp/wp-content/themes/oita_park_cat/pdf/event.pdf)</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2020.8.3

農林水産研究タイムリー情報

2021年5月7日時点

(合計334件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
0666	花きグループ	<p>【「フラワーフェスティバル夏」盛會に開催】 (2020.7.13発信)</p> <p>7月11日、12日に県花き産業振興協議会主催のイベントがiichiko総合文化センターで開催されました。多数の来場者がメイン展示のホオズキや、アマビエをモチーフにしたフラワーアートに足を止めていました。フラワーアレンジ教室では旬の花材で可憐な作品が出来ていました。冬には品評会も併せて開催されますのでご期待ください。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2020.7.31
0665	花きグループ	<p>【花き類の病害診断を行っています。】 (2020.7.13発信)</p> <p>花きグループでは、振興局を通じて年間100件ほどの病害虫診断依頼があります。主な品目はキク、スイートピー、ホオズキで、原因としては糸状菌(カビ)やウイルスが多いです。梅雨時期は病害が発生しやすいため、気象情報等を活用し早めの防除対策が必要になります。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2020.7.31
0664	花きグループ	<p>【トルコギキョウの定植を行いました。】 (2020.7.9発信)</p> <p>4月9日に播種した市販数品種のトルコギキョウを7月9日に少量培地(花きグループが開発した簡易で低コストな栽培システム)に定植しました。9月から開花調査を行い適品種を選定する他、より栽培に適した培地を探索するなど、少量培地における栽培技術を確立します。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2020.7.31
0662	花きグループ	<p>【小ギクの開花が始まりました】 (2020.7.6発信)</p> <p>小ギクの需要期である新盆(7月)、旧盆(8月)、彼岸(9月)の適期出荷に向けて、電照による開花時期調節の他、整枝や防除等を行っています。現在、7月出荷用の小ギクが開花を始めており、今後、順次開花調査を行いながら、適期出荷技術を確立します。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2020.7.31
0661	花きグループ	<p>【7月11、12日に「フラワーフェスティバル夏」開催】 (2020.7.6発信)</p> <p>県花き産業振興協議会主催のイベントがiichiko総合文化センターアトリウムプラザで開催されます。フラワーアレンジ教室や展示会、デモンストレーション等が予定されています。色とりどりの夏の花を見て触れて癒されてください。詳しくはこちらまで。 (http://www.pref.oita.jp/soshiki/15380/flowerfes2020summer.html)</p>	 昨年の開催状況	花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2020.7.12
0646	花きグループ	<p>【農業高校生にトルコギキョウの栽培研修を行いました】 (2020.6.24発信)</p> <p>今年度から久住高原農業高校と連携してトルコギキョウの品種選定試験を行います。この程来所した草花専攻生に対して、施肥管理や整枝方法等の技術研修を行いました。6月26日から同高校で定植を開始する予定で、今後も定期的に技術交流を深めていきます。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2020.7.10
0645	花きグループ	<p>【PCR法によるウイルス検定を実施中】 (2020.6.24発信)</p> <p>当グループで育成した花きがウイルスを持っていないかPCR法で検定しています。判定までに1日を要しますが、植物体内の極微量のウイルス遺伝子を検出できるのが特徴です。ウイルス感染していない苗は栽培用に増殖します。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2020.7.10
0644	花きグループ	<p>【花木の花から天然香料を抽出しました】 (2020.6.23発信)</p> <p>昨年8月に本県と連携協定を締結した小川香料株式会社に、蠟梅(ロウバイ)、豊後梅などの花をサンプルとして提供しており、この程、蠟梅の花から香料が抽出できたことから情報交換を行いました。今後も、キンモクセイやスイートピーなどから香料の抽出が可能か引き続き検討します。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2020.7.10

農林水産研究タイムリー情報

2021年5月7日時点

(合計334件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
0638	花きグループ	<p>【大分農業文化公園のホオズキが順調に生育中】(2020. 6. 23発信)</p> <p>ホオズキのPRや栽培技術の普及を大分農業文化公園と県関係機関が連携して行っています。4月15日に同公園内の圃場に定植した約7,000本の苗は、現在30~40cmに生長し2~4個着果しています。8月に収穫祭を行う計画をしており、詳細については今後のタイムリー情報にてお知らせ予定です。</p>		花きグループ 企画指導担当	0977-66-4706	2020.7.10
0637	花きグループ	<p>【農業高校と連携してトルコギキョウの栽培試験を行います!】(2020. 6. 19発信)</p> <p>夏秋期のトルコギキョウ栽培に適した品種を選定する試験を久住高原農業高校で行います。試験に向けた栽培研修を6月24日に花きグループで行うなど、今後技術交流を深めていきます。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2020.7.10
0631	花きグループ	<p>【花きの商品性等について情報交換しました】(2020. 6. 9発信)</p> <p>6月9日の県花き産業振興協議会総会終了後、流通、販売、文化の関係者から当グループで栽培試験中のラクスパ、マトリカリア、カルタムス等について評価をいただきました。花の長さ、茎の堅さ、花の色、葉の大きさ、単価等について、アドバイスをいただき、これらの意見は今後の試験設計や現地普及の参考になりました。</p> <p>(関係者からいただいた意見等の具体例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラクスパは80cm程度で、茎が細く、堅いので良い。 ・家の構造が小さくなっているため、小さい中で表現できる小さい花が良い。 ・他に無いものが良い。 ・特徴があるものが欲しい。 		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2020.7.10
0630	花きグループ	<p>【県花き産業振興協議会総会が開催される】(2020. 6. 9発信)</p> <p>6月9日に当グループで、花き生産、流通、販売、文化等に関わる団体が一体となって、花き産業、文化の発展を目指す標記総会が開催されました。各団体ともコロナの影響が大きく、非常に厳しい状況にあるので、業界全体として生産拡大、消費拡大が図れる取り組みをする計画を審議し、了承しました。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2020.7.10
0562	花きグループ	<p>【御衣黄(ぎょいこう)が満開を迎えます】(2020. 4. 13発信)</p> <p>御衣黄は黄緑色の花を咲かせる桜の品種です。植物園にある数本の御衣黄は、例年に比べやや早い4月6日頃から開花が始まり、13日の週には見頃になります。この後、花は中心部から赤く色づいていき下旬まで色変わりを楽しめます。</p>		花きグループ 企画指導担当	0977-66-4706	2020.4.30
0565	花きグループ	<p>【ヤマジノギクの親株配布を始めました】(2020. 4. 13発信)</p> <p>3月下旬からヤマジノギクの早生系統を農協等に配布しており、現在最盛期を迎えています。今後は中生の系統に順次移行し、計3万5千本を配布する計画です。配布先では、親株から5倍程度増殖され、6月以降に生産者に配布される見込みです。</p>		花きグループ 企画指導担当	0977-66-4706	2020.4.30
0567	花きグループ	<p>【ホオズキを大分農業文化公園に定植しました】(2020. 4. 17発信)</p> <p>県関係機関や大分農業文化公園と連携して、ホオズキのPRや栽培技術の普及を行っており、4月15日に同公園内の圃場に約7,000本の苗を定植しました。今後は定期的に栽培管理を行い、7~8月には収穫できる見込みです。</p>		花きグループ 企画指導担当	0977-66-4706	2020.4.30
0574	花きグループ	<p>【育成したスイートピーを生産者グループが視察】(2020. 4. 23発信)</p> <p>私たちの職場で交配し新たに育成した試作のスイートピーを、生産者の団体が視察に訪れました。栽培してみたい系統を選んでもらい、来年試作をしてもらいます。その結果がよければ、有望な系統として現地への普及を進めます。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2020.5.10

農林水産研究タイムリー情報

2021年5月7日時点

(合計334件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
0575	花きグループ	<p>【コギクの定植を行いました】 (2020.4.23発信)</p> <p>小ギクの需要期である7～9月に向け、適期に正確に出荷できる技術開発に取り組んでいます。 赤・白・黄の計15品種を作型ごとに順次定植しています。 今後電照による開花調節を行い、開花日や品質を調査します。</p>		花きグループ 企画指導担当	0977- 66-4706	2020.5.10
0595	花きグループ	<p>【小ギクの試験をしています】 (2020.5.19発信)</p> <p>小ギクの需要期である新盆(7月)、旧盆(8月)、彼岸(9月)に向けた適期出荷技術の開発に取り組んでいます。バック花(小売店などで販売している3色セットの花束)に適した品種の選抜や、電照による開花調整を行っています。</p>		花きグループ 花きチーム	0977- 66-4706	2020.5.30
0620	花きグループ	<p>【スプレーギクの品種選定中】 (2020.6.1発信)</p> <p>2月に定植したスプレーギク12品種が開花時期を迎えています。 輪ギク経営では、需要期の高い3、8、9、12月以外は販売単価が安く、この時期の単価向上が課題です。 有望な補完品目の1つであるスプレーギクの中から、現在、良い品種を選定する試験を行っています。</p>		花きグループ 花きチーム	0977- 66-4706	2020.6.10

農林水産研究タイムリー情報

2021年5月7日時点

(合計334件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
⑤畜産研究部 (計15件)						
0874	畜産研究部	<p>【研究部内で「野焼き」を行っています】 (2021. 3. 10発信)</p> <p>2月24日から研究部内野草地等の「野焼き」を行っています。野焼きは枯れ草に火を入れることで害虫駆除、若芽の成長促進及び環境保全を図るもので、久住高原の春先の風物詩となっています。今後の天候を考慮しながら3月中旬まで実施する予定です。</p>		畜産研究部 企画指導担当	0974-76-1214	2021.3.31
0815	畜産研究部	<p>【家畜人工授精講習会（牛）が終了しました】 (2020. 12. 10発信)</p> <p>11月2日から部内で開催されていた上記講習会は12月2日に終了し閉講式が行われました。その後の修業試験で受講者15名は全員合格し、今後各地域の家畜人工授精師としての活躍が期待されます。</p>		畜産研究部 企画指導担当	0974-76-1214	2021.1.12
0781	畜産研究部	<p>【家畜人工授精講習会を開始しました】 (2020. 11. 09発信)</p> <p>11月2日、当研究部で家畜人工授精講習会（牛）の開講式が行われました。今年の講習会は12月2日までの1ヶ月間で、学生や繁殖農家など15名が家畜人工授精師の免許取得を目指して受講しています。</p>		畜産研究部 企画指導担当	0974-76-1214	2020.12.7
0761	畜産研究部	<p>【当部の研究員が優秀畜産技術者賞を受賞しました】 (2020. 10. 27発信)</p> <p>当研究部の佐藤主幹研究員が、種雄牛の造成や肉用牛の改良に関する研究等の功績が評価され、公益社団法人 畜産技術協会の優秀畜産技術者賞を受賞しました。この件について10月19日尾野副知事に報告を行いました。</p>		畜産研究部 企画指導担当	0974-76-1214	2020.11.25
0737	畜産研究部	<p>【県共肉牛の部で「平福安」産子が好成績】 (2020. 10. 7発信)</p> <p>10月2-3日、県畜産共進会肉牛の部が開催され、1区（肉専用種）には40頭の黒毛和種枝肉が出品されました。特に県有種雄牛「平福安」産子の成績が良好で、出品14頭中8頭が最優秀賞に入賞し、最優秀賞首席にはチャンピオン杯が授与されました。</p>		畜産研究部 企画指導担当	0974-76-1214	2020.11.10
0722	畜産研究部	<p>【候補種雄牛展示会を開催しました】 (2020. 9. 18発信)</p> <p>9月16日、候補種雄牛選抜のため直接検定終了牛7頭の展示会を開催しました。今回の牛群は、発育・表現型・母の能力等がこれまでになく優れており、雨天にもかかわらず関係者約60人が出席し、熱心に見学していました。</p>		畜産研究部 企画指導担当	0974-76-1214	2020.10.20
0710	畜産研究部	<p>【獣医系大学生インターンシップ研修を実施しています】 (2020. 8. 28発信)</p> <p>毎年、夏休みの時期インターンシップ研修を実施しています。今年は2班3名の学生を受け入れ予定で、第1班2名には8月25-26日の2日間、肉用牛の改良や牛の管理技術・繁殖技術などの研修を実施しました。</p>		畜産研究部 企画指導担当	0974-76-1214	2020.9.30
0699	畜産研究部	<p>【春播きトウモロコシの刈取調査を行いました】 (2020. 8. 17発信)</p> <p>県内栽培で有望と思われる飼料用トウモロコシの市販新品種を栽培・比較し、県の飼料作物奨励品種を選定する試験を行っています。今年は5品種について生育・収量等の調査を行いました。</p>		畜産研究部 企画指導担当	0974-76-1214	2020.9.15
0697	畜産研究部	<p>【地域畜産共進会に審査員を派遣しています】 (2020. 8. 11発信)</p> <p>畜産共進会（品評会）は家畜の改良の成果を示す場であり、今年は7月以降9月中旬まで県下各地域で肉用牛の共進会が開催される見込みです。研究部は審査員を派遣し地域畜産共進会の運営に協力しています。</p>		畜産研究部 企画指導担当	0974-76-1214	2020.9.10

農林水産研究タイムリー情報

2021年5月7日時点

(合計334件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
0696	畜産研究部	<p>【2番草の収穫調整作業を始めました】 (2020. 8. 11発信)</p> <p>研究部では飼育する牛の粗飼料確保のため、約60haの採草地に牧草を栽培し、年に3回収穫調整作業を行っています。今年の2番草は梅雨の明けた7月30日から刈り取りを開始し、8月中旬にかけて作業が行われます。</p>		畜産研究部 企画指導担当	0974-76-1214	2020.9.5
0680	畜産研究部	<p>【種雄牛及び種雄豚の定期種畜検査を受検しました】 (2020. 7. 27発信)</p> <p>国内の優良な家畜改良を推進するため、家畜改良増殖法に基づく国の令和2年度定期種畜検査（伝染性・遺伝性疾患、繁殖機能障害等の検査）が実施され、当研究部の保有する種畜については、7月15日に種雄豚36頭が、同16日には種雄牛27頭が受検し、全頭合格しました。</p>		畜産研究部 企画指導担当	0974-76-1214	2020.8.25
0635	畜産研究部	<p>【ゲノム育種価を活用し選ばれた候補種雄牛産子の市場出荷が始まる！】 (2020. 6. 17発信)</p> <p>5月子牛市場に「葵白清」「加代白清」産子が上場され、6月は「勝美2」も含め31頭の子牛が取引されました。出荷は今後も続く見込みで、これら候補種雄牛は後代検定終了までに一般肥育の枝肉成績の判明が期待されます。 ※ゲノム育種価（遺伝子情報を活用し遺伝的能力を推定して数値化）</p>		畜産研究部 企画指導担当	0974-76-1214	2020.7.15
0584	畜産研究部	<p>【候補種雄牛2頭の現場後代検定を開始しました】 (2020. 5. 14発信)</p> <p>ゲノム育種価（遺伝子情報を活用し遺伝的能力を推定して数値化）を活用し選ばれた「加代白清」と和牛のオリンピックともいわれる第12回全国和牛能力共進会で活躍が期待される「美馬桜」の検定牛導入が始まりました。今後2年ほど肥育の後、枝肉成績で検定結果が判明します。</p>		畜産研究部 企画指導担当	0974-76-1214	2020.6.15
0566	畜産研究部	<p>【令和2年度 就農準備研修を開始しました】 (2020. 4. 14発信)</p> <p>4月10日、農業大学校で就農準備研修開講式が行われました。同研修畜産コースの本年度の研修生は2名で、3月10日までの11日間、研究部と農業大学校において就農にむけた各種研修が実施されます。</p>		畜産研究部 企画指導担当	0974-76-1214	2020.5.15
0875	畜産研究部	<p>【令和2年度就農準備研修が終了しました】 (2021. 3. 12発信)</p> <p>3月10日、就農準備研修の閉講式が県立農業大学校で行われました。同研修畜産コースの実習は畜産研究部で実施され、2名の研修生は今後肉用牛繁殖経営に取り組む予定で、活躍が期待されます。</p>		畜産研究部 企画指導担当	0974-76-1214	2021.4.15

農林水産研究タイムリー情報

2021年5月7日時点

(合計334件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
⑥林業研究部 (計16件)						
0887	林業研究部	<p>【スギさし木増産に向けた採穂・育苗方法の普及用パンフレットを作成しました。】(2021. 3. 30発信)</p> <p>県では主伐の増加に伴い、再造林のための苗木増産が求められています。育苗試験などを行い、令和2年度までの3か年の成果をまとめ、ホームページで公開しました。この成果を活用して苗木の増産が図られることを期待しています。</p>		林業研究部 企画指導担当	0973-23-2146	2021.4.30
0863	林業研究部	<p>【ヒノキやコウヨウゼン等の種子発芽能力を調べています。】(2021. 2. 24発信)</p> <p>苗木生産に必要な播種密度や播種量などの情報を苗木生産者に提供するため、抵抗性クロマツ、ヒノキ、コウヨウゼンの種子の発芽能力を調べています。種子培養後、各樹種の発芽率を求め、発芽しなかった残種子については切開して、その原因を調べます。</p>		林業研究部 企画指導担当	0973-23-2146	2021.3.31
0836	林業研究部	<p>【長大スパンに対応する接着重ね材の開発に取り組んでいます。】(2021. 1. 22発信)</p> <p>大分大学木質構造研究室の協力を得て、当部の実大強度試験機にて、長さ8m材の接着重ね材(幅130×高750×長8000mm)の曲げ強度試験(JAS規格)の公開実験を行いました。非住宅建築物の木造化を推進するため、今後も試験研究に取り組みます。</p>		林業研究部 企画指導担当	0973-23-2146	2021.2.26
0823	林業研究部	<p>【寸法安定性の高い高品質乾燥材生産技術の開発に取り組んでいます。(第3報)】(2020. 12. 24発信)</p> <p>乾燥技術の開発に取り組んでいます。県立日田林工高等学校の乾燥機を借用して、スギ心去り平角材を高周波乾燥や中温乾燥を行い、内部割れの状況などの材質を測定しています。</p>		林業研究部 企画指導担当	0973-23-2146	2021.1.29
0796	林業研究部	<p>【大断面製材品の強度性能を評価しています。】(2020. 11. 24発信)</p> <p>木造化が勧められている公共建築物などに使われている大きな断面の製材品で乾燥方法(高周波蒸気複合乾燥、中温乾燥及び高温乾燥)による性能の違いを調査するため、強度試験機を使って、縦方向の強度やヤング係数(曲げ強度)を測定しています。</p>		林業研究部 企画指導担当	0973-23-2146	2021.1.9
0793	林業研究部	<p>【スギ花粉の飛散量予測のため、雄花着生状況調査を行っています。】(2020. 11. 20発信)</p> <p>県内の定点スギ林20箇所から、定点あたり40本の雄花着生量をA(非常に多い)、B(多い)、C(少ない)、D(無い)の4つに判定しています。調査結果は全国林業改良普及協会が夏の気温や降水量等の気象データも併せてとりまとめ、スギ花粉飛散量の予測に活用されています。</p>		林業研究部 企画指導担当	0973-23-2146	2021.1.9
0752	林業研究部	<p>【県産スギ大径材の有効利用技術に関する研究を進めています。】(2020. 10. 16発信)</p> <p>スギ大径材の有効利用を進めるため、大径材から正角材を9本製材する研究を行っています。製材した位置に強度的な違いがあるか調べるために、試験材の端部を圧縮して、めり込み試験を行いました。その結果、製材した位置によって差があることがわかりました。</p>		林業研究部 企画指導担当	0973-23-2146	2020.11.27
0751	林業研究部	<p>【植栽地シカネットの状況をドローンで調査しました。】(2020. 10. 14発信)</p> <p>シカネット設置後の管理手法を検討するため、ドローンを使った判別テストを行いました。調査では、台風等で崩れた土砂で押されたシカネット支柱先端のマーカーを上空からドローンで撮影し、ネットの張りや傾きを確認しました。今後も、管理・判別しやすい方法を検討していきます。</p>		林業研究部 企画指導担当	0973-23-2146	2020.11.27
0727	林業研究部	<p>【再造林に欠かせないシカ害防除に向け管理手法を検討しています。】(2020. 9. 29発信)</p> <p>再造林のシカ被害対策としてシカネットを設置していますが、設置後の管理が問題となっています。そこで、見えにくいネットや支柱が判別できるよう工夫して、ドローンにより簡易に管理点検できないか、試験中です。</p>		林業研究部 企画指導担当	0973-23-2146	2020.10.30

農林水産研究タイムリー情報

2021年5月7日時点

(合計334件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
0705	林業研究部	<p>【人工乾燥条件と強度性能の関係を評価しています。】 (2020. 8. 25発信)</p> <p>全国12の研究機関が共同実施している人工乾燥条件と強度性能の関係調査において昨年度、一般流通製材について調査した結果、強度低下が考えられる事例が一部で見られましたが、両者の間に明確な関係は認められませんでした。そこで、今年度は、より詳細な研究に取り組んでいます。</p>		林業研究部 企画指導担当	0973-23-2146	2020.9.25
0671	林業研究部	<p>【寸法安定性の高い高品質乾燥材生産技術の開発に取り組んでいます。(第2報)】(2020. 7. 20発信)</p> <p>非木造建築物の木造化推進のため、高品質乾燥技術の開発に取り組んでいます。現在、沸点の低い減圧環境で高周波乾燥ができる高周波減圧乾燥試験を熊本県と共同で行い、内部割れのない寸法安定性の高いスギ平角材生産に向けて材質測定等を行っています。</p>		林業研究部 企画指導担当	0973-23-2146	2020.8.21
0670	林業研究部	<p>【大断面製材品の強度性能を評価しています。(第3報)】(2020. 7. 20発信)</p> <p>非住宅分野の建築物の木造化を促進するため、大断面製材品の強度性能を評価しています。高温乾燥した心持ちスギ平角材(短辺120mm、長辺300mm、長さ720mm)の縦圧縮試験を実施しています。</p>		林業研究部 企画指導担当	0973-23-2146	2020.8.21
0652	林業研究部	<p>【県産スギ大径材の有効利用技術に関する研究を進めています。(第6報)】(2020. 6. 29発信)</p> <p>スギ大径材から正角材(幅90mm、厚さ90mm、長さ4m)を9本製材し、高温で乾燥しました。製材した位置によって強度に違いがあるのか、強度試験機にて曲げ試験を行い、強さ等を測定しています。</p>		林業研究部 企画指導担当	0973-23-2146	2020.7.27
0651	林業研究部	<p>【スギさし木の腐敗対策について検証を行っています。】 (2020. 6. 29発信)</p> <p>梅雨時はスギの腐敗に対する抵抗力が弱まるとされ、実際に一部の系統で腐敗による発根率低下が確認されています。この事象に対し、穂木の整穂方法や、さし付け密度を変えることで有効な対策になり得るかを検証中です。</p>		林業研究部 企画指導担当	0973-23-2146	2020.7.27
0600	林業研究部	<p>【県産スギ大径材の有効利用技術に関する研究を進めています。(第5報)】 (2020. 5. 25発信)</p> <p>乾燥による変化を測定するため、昨年12月に林業研究部内にて伐採したスギ丸太から心持ち材(丸太の中心部を含む材)を製材しました。心持ち材は、約4か月天然乾燥した後、高温蒸気式乾燥機を使って乾燥させます。</p>		林業研究部 企画指導担当	0973-23-2146	2020.6.29
0568	林業研究部	<p>【早生樹(そうせいじゅ)の成長を調査しました】 (2020. 4. 21発信)</p> <p>中津市と協力し、食害防止のツリーシェルターを設置したコウヨウザン等早生樹※(H29.3植栽)の樹高を測定しました。今後も調査を行い、成長量のデータを蓄積する計画です。</p> <p>※「早生樹(そうせいじゅ)」とは…初期の樹高成長量、伐期までの材積成長量が大きな樹種のことです。</p>		林業研究部 企画指導担当	0973-23-2146	2020.5.29

農林水産研究タイムリー情報

2021年5月7日時点

(合計334件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
<p>きのこグループ (計11件)</p>						
0886	きのこグループ	<p>【ハラアコブカミキリ発生】 (2021. 3. 25発信)</p> <p>気温が高くなり、きのこグループの場内で「ハラアコブカミキリ」の成虫が見られるようになりました。「ハラアコブカミキリ」は、ほだ木を食害する害虫ですが生態がよく分かっていません。蛍光塗料を背中にマーキングし、ブラックライトを照射することで、夜間の行動を観察できないか検討しています。</p>		きのこグループ きのこチーム	0974-22-4236	2021.4.26
0885	きのこグループ	<p>【早期ほだ化試験を行なっています。】 (2021. 3. 25発信)</p> <p>きのこグループでは、植菌1年目からシタケを発生させるために早期ほだ化試験を実施しています。種駒の種類や伏せ込み方法の異なる試験区を設定して効果の検証を行います。植菌後、シタケ菌糸が蔓延しやすいように散水を行い、ビニール被覆管理をしています。</p>		きのこグループ 企画指導担当	0974-22-4236	2021.4.26
0829	きのこグループ	<p>【乾シタケの機能性成分増加試験】 (2020. 12. 24発信)</p> <p>きのこグループでは、乾シタケに含まれている機能性成分量を増加させるための試験を行なっています。今回は乾シタケの粉末を加熱調理し、形状や加熱時間による成分量の変化を調査します。</p>		きのこグループ 企画指導担当	0974-22-4236	2021.1.29
0784	きのこグループ	<p>【乾シタケ交配株の保存】 (2020. 11. 11発信)</p> <p>きのこグループでは、大分県の気象条件に適合した新品種の育成に取り組んでいます。新たに交配した菌株をシャーレから試験管に移し、培養させます。来年度の室内選抜試験の準備をしています。</p>		きのこグループ 企画指導担当	0974-22-4236	2020.12.10
0783	きのこグループ	<p>【乾シタケ保管時のビタミンD変化試験】 (2020. 11. 11発信)</p> <p>きのこグループでは、乾シタケ保管時のビタミンD含有量変化試験を行っています。紫外線処理を行いビタミンDを増加させた乾シタケを3か月保管します。包装資材や保管条件の違いによるビタミンDの含有量の変化を調査します。</p>		きのこグループ 企画指導担当	0974-22-4236	2020.12.10
0748	きのこグループ	<p>【乾シタケ早期ほだ化試験を行っています。】 (2020. 10. 14発信)</p> <p>原木乾シタケ栽培において、ほだ木育成期間を短縮し、植菌1年目からシタケの発生を目指す「早期ほだ化試験」に取り組んでいます。今年の春に植菌し、伏せ込みしていたほだ木をほだ場に移動させました。これから発生調査を行います。</p>		きのこグループ 企画指導担当	0974-22-4236	2020.11.12
0744	きのこグループ	<p>【ほだ木「散水・打木処理」を開始しました】 (2020. 10. 12発信)</p> <p>きのこグループでは、乾シタケ原木栽培の単収向上に関する試験を実施しています。これまでに効果のあった散水・打木処理について、打木の回数、箇所、時期の異なる試験区を設定し、効果の検証を行なっています(※写真：ほだ木をハンマーでたたいて刺激を与える打木処理の様子)。</p>		きのこグループ 企画指導担当	0974-22-4236	2020.11.12
0701	きのこグループ	<p>【廃菌床利用のきのこ栽培予備試験の実施】 (2020. 8. 20発信)</p> <p>きのこグループでは、廃菌床を利用したきのこ栽培の予備試験を実施しています。今回は5月に接種したキクラゲの発生準備として培地に切れ込みをいれました。約2週間で発生が開始します。今後は発生量調査を行います。</p>		きのこグループ 企画指導担当	0974-22-4236	2020.9.20

農林水産研究タイムリー情報

2021年5月7日時点

(合計334件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
0660	きのこグループ	<p>【乾シイタケ官能評価試験の実施】 (2020. 7. 3発信)</p> <p>新ブランド「うまみだけ」対象品種拡大に向けた、乾シイタケの官能評価試験を実施しました。「うまみだけ」2品種と県内で多く栽培されている4品種を選抜し、品種毎の香りやうま味などを評価しました。この結果は品種の拡大に活用されます。</p>		きのこグループ 企画指導担当	0974- 22-4236	2020.8.3
0615	きのこグループ	<p>【乾シイタケ選別調査の実施】 (2020. 5. 29発信)</p> <p>きのこグループでは、今シーズンのシイタケの発生が終了したので、秋から春にかけて採取、乾燥した乾シイタケの選別調査を開始しました。試験区毎に大きさ、品柄等の品質を調査し、発生量と合わせて評価を行います。</p>		きのこグループ 企画指導担当	0974- 22-4236	2020.6.26
0602	きのこグループ	<p>【乾シイタケ品種の実用化検定試験の開始】 (2020. 5. 25発信)</p> <p>きのこグループでは、本県の気象条件に適合する乾シイタケのオリジナル品種の育成を目指しています。昨年度に有望な2品種を選抜し、今年度から県内各地10名の生産者に栽培を委託して実用化検定試験を開始しました。これから、駒打ち後のほだ木の状況や発生状況を調査します。</p>		きのこグループ 企画指導担当	0974- 22-4236	2020.6.25

農林水産研究タイムリー情報

2021年5月7日時点

(合計334件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
⑧水産研究部 (計28件)						
0883	水産研究部	<p>【スーパーサイエンスハイスクール(SSH)が水産研究部で研修！】 (2021.3.22発信)</p> <p>文科省からSSHの指定を受け先進的な理数系教育に取り組んでいる日田高校1年生34名が、当部で養殖技術開発、魚病診断、漁業調査船の調査データの活用等について学びました。今回の研修が、科学技術系人材育成につながることを期待します。</p>		水産研究部 企画指導担当	0972-32-2155	2021.4.23
0868	水産研究部	<p>【マグロ養殖場で環境調査実施！】 (2021.3.3発信)</p> <p>当部では県内養殖漁場で定期的に環境調査を行なっています。2月16日に実施した佐伯湾内の大規模なマグロ養殖漁場の調査結果などを元に、環境に配慮した持続的な養殖生産指導に取り組み、赤潮発生の低減等を目指します。</p>		水産研究部 養殖環境チーム	0972-32-2155	2021.3.31
0867	水産研究部	<p>【完全養殖ブリの採卵を実施！】 (2021.3.3発信)</p> <p>平成29年度に種苗生産し大切に育てたブリを親魚とし2月4日に採卵を行いました。卵の状態も良く、約100万尾がふ化し、最も危険な8日齢での生残尾数も約72万尾と順調でした。3月1日時点で全長7.8mmに成長しています。</p>		水産研究部 資源増殖チーム	0972-32-2155	2021.3.31
0866	水産研究部	<p>【水産研究部で職業教育を実施！】 (2021.3.1発信)</p> <p>2月26日、佐伯鶴城高校の生徒3名に当部の研究業務を体験することで地元就業促進を図るジョブシャドウイング(職業教育)を実施しました。将来、大分県の水産業に貢献できる希望の職業に就くためには、どのような教育を受け、スキルを習得すれば良いかを学んでいただきました。</p>		水産研究部 企画指導担当	0972-32-2155	2021.3.31
0864	水産研究部	<p>【番匠川でアユの遡上、始まりました！】 (2021.2.24発信)</p> <p>2/17の調査で、遡上アユを今期初確認しました。調査では遡上の開始時期やピーク、産卵期などを調べています。今後、多くのアユが遡上することを期待し、5月中旬まで調査を継続します。</p>		水産研究部 資源増殖チーム	0972-32-2155	2021.3.31
0859	水産研究部	<p>【水産技術職員研究発表会を開催！】 (2021.2.17発信)</p> <p>2月5日に県内の水産技術職員による14課題の報告会が行われました。本会は昭和45年からの開催と長い歴史があり、会議等で報告する時の練習も兼ねた意見交換、討論する場として、活発な質疑応答等があり、課題の早期解決が期待されます。</p>		水産研究部 企画指導担当	0972-32-2155	2021.3.19
0840	水産研究部	<p>【水産研究部で市町村職員実務研修開催！】 (2021.1.28発信)</p> <p>本庁業務に携わる市町村等の職員10名に対し、試験研究現場の取組について紹介しました。本庁業務では企画や政策立案等に触れる機会が多い中、今回の現場研修が、市町村に戻られた時に業務の役に立つことを期待しています。</p>		水産研究部 企画指導担当	0972-32-2155	2021.2.26
0837	水産研究部	<p>【養殖ヒラメ用のDNAワクチン開発】 (2021.1.26発信)</p> <p>当研究部では、魚病被害の低減を図る目的で大学等と連携してワクチン開発に取り組んでいます。今回、3種の試作ワクチンをヒラメに接種し、効果の検証を開始しました。有望なワクチンが選定できれば、実用化に向けた試験へ進むことが期待されます。</p>		水産研究部 養殖環境チーム	0972-32-2155	2021.2.26

農林水産研究タイムリー情報

2021年5月7日時点

(合計334件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
0827	水産研究部	<p>【漁業者がハモの練り製品を試作！】 (2020.12.25発信)</p> <p>宇佐の底びき網漁業者が、漁獲したハモを使い、水産研究部で担当研究員の指導を受けながら練り製品を試作しました。漁業士の活動として「今後も改良を加えていくとともに、ハモ練り製品の普及に努めたい」とのことです。</p>		水産研究部 養殖環境チーム	0972-32-2155	2021.1.29
0826	水産研究部	<p>【漁業就業希望者が漁業学校で学びました！】 (2020.12.24発信)</p> <p>12月18日、当研究部に漁業就業希望者3名を対象に漁業学校を開校し、当部研究員が講師となり魚類栄養学や水産資源学など漁業に従事するために必要な知識を学びました。若い担い手確保に試験研究機関としても貢献しています。</p>		水産研究部 養殖環境チーム	0972-32-2155	2021.1.29
0807	水産研究部	<p>【環境調査の継続で赤潮被害軽減！】 (2020.12.3発信)</p> <p>赤潮被害軽減のため、国の研究機関と定期的に魚類養殖場で海水中の栄養塩や採泥等の環境調査を行っています。取得した環境データを蓄積解析し、赤潮発生予察技術や防除技術の開発に繋げていきます。</p>		水産研究部 養殖環境チーム	0972-32-2155	2021.1.4
0798	水産研究部	<p>【全国水産試験場長会全国大会の開催！】 (2020.11.26発信)</p> <p>水産研究機関の連携等を目的に県庁で開催しました。今年は十分に感染対策を取り規模を縮小した大会でしたが、活発な質疑が行われ、優秀な研究に対する会長賞の表彰も行われました。</p>		水産研究部 企画指導担当	0972-32-2155	2020.12.25
0797	水産研究部	<p>【クルマエビに標識を付けて放流しました！】 (2020.11.26発信)</p> <p>クルマエビの移動や成長を把握するため、水揚げされた約350尾の右目に写真のような標識を付け、11月16～18日に佐伯湾へ放流しました。標識付のエビを見つけた方は漁協支店へお知らせください。</p>		水産研究部 資源増殖チーム	0972-32-2155	2020.12.25
0772	水産研究部	<p>【魚種ごとの資源量の推定を目指して！】 (2020.10.30発信)</p> <p>漁業調査船「豊洋」に搭載した最新鋭の調査機器、「計量魚群探知機」を用いた調査によりデータの収集、蓄積を行っています。将来的に魚種ごとに資源量を推定することを目指しています。</p>	<p>魚群データの画像</p>  <p>船上での調査状況</p> 	水産研究部 資源増殖チーム	0972-32-2155	2020.11.30
0753	水産研究部	<p>【日田市立東溪小学校が水産研究部で社会見学！】 (2020.10.20発信)</p> <p>5年生16名が、社会科授業で学習した水産業の実態を学ぶため、魚の種苗生産や養殖等について施設を見学しながら説明を受けました。また、漁業調査船「豊洋」の船内や海洋観測調査機器の見学時には、真剣な眼差しで耳を傾けて説明を聞いていました。</p>		水産研究部 企画指導担当	0972-32-2155	2020.11.20
0747	水産研究部	<p>【調査船 豊洋、海洋観測航海中！】 (2020.10.14 発信)</p> <p>長年に亘り豊洋が観測してきた豊後水道の水温、塩分等のデータは漁業者等に提供されるとともに、近年の環境変化を知るために役立っています。今回の調査ではつくみイルカ島職員も乗船し鯨類調査も行いました。今後も豊洋は各種の海洋調査観測を行っていきます。</p>		水産研究部 資源増殖チーム	0972-32-2155	2020.11.13

農林水産研究タイムリー情報

2021年5月7日時点

(合計334件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
0738	水産研究部	<p>【小学生が「安心・安全な養殖」を学ぶ！】 (2020.10.7発信)</p> <p>水産養殖協議会主催の現地研修会に清川小学校6年生8名が参加し、養殖場を見学し試食した後、勉強会を開催しました。「魚を育てていて楽しかったこと、つらかったことは？」など児童からの様々な質問に養殖生産者は真剣に答え、安心しておいしく食べられる魚を育てていることを理解してもらえたと思います。</p>		水産研究部 企画指導担当	0972-32-2155	2020.11.10
0724	水産研究部	<p>【浮魚礁に集まった魚達、魚礁の効果は！】 (2020.9.23発信)</p> <p>保戸島付近に設置している浮魚礁に集まる魚を調べる試験を実施しました。その結果、マアジ、サバ類、ウルメイワシ等の大型魚の餌となる魚種が確認されたことから、ブリなどが浮き魚礁に寄りつくことが期待されます。</p>		水産研究部 資源増殖チーム	0972-32-2155	2020.10.30
0718	水産研究部	<p>【インターンシップ受入れ】 (2020.9.14発信)</p> <p>大分県への就職を考えている大学生4名が、農林水産業の業務内容を学ぶため水産研究部を訪れました。試験研究業務の説明と見学を通じて、水産業の業務について理解を深めたようです。将来、県職として一緒に仕事ができるといいですね。(写真：研究員からブリ種苗生産についての説明を熱心に聞く研修生)</p>		水産研究部 企画指導担当	0972-32-2155	2020.10.15
0685	水産研究部	<p>【佐伯南中でリクルート活動！】 (2020.7.29発信)</p> <p>職業や仕事に対する考え方を学ぶ総合学習で、水産業の概要と水産研究部の研究内容について説明しました。生徒からは、「仕事のやりがいはいは？」など多くの質問が出ました。将来、水産関係の職業を目指す人が出ることを期待します。</p>		水産研究部 企画指導担当	0972-32-2155	2020.8.28
0684	水産研究部	<p>【カキが赤潮被害防除の救世主に？】 (2020.7.22発信)</p> <p>カキが赤潮プランクトンを浄化するか実験をした結果、被害が出るほどの濃厚な赤潮状態でも、カキが赤潮プランクトンを食べて、密度を低くすることが実験レベルで明らかとなりました。今後は、カキを大量に養殖することで赤潮が軽減されることを現場で実証していきます。</p>		水産研究部 養殖環境チーム	0972-32-2155	2020.8.28
0683	水産研究部	<p>【高精度機器により生簀内のマグロの行動を観察！】 (2020.7.22発信)</p> <p>水産大学校（国立研究開発法人水産研究・教育機構）との共同研究で、高精度の機器を使用して養殖しているマグロの行動を記録し、そのデータを解析することにより、マグロの詳細な行動を明らかにし、赤潮対策等への技術開発に繋がっていきます。</p>		水産研究部 養殖環境チーム	0972-32-2155	2020.8.28
0682	水産研究部	<p>【実験魚（モジャコ）を受け入れました！】 (2020.7.20発信)</p> <p>赤潮被害軽減対策のための試験に使用するブリ稚魚（2,000尾、体長約16cm）を水産研究部の海上生簀に受け入れました。しばらくは、生簀に馴れさせ餌を良く食べるように飼育してから、様々な実験に取りかかります。</p>		水産研究部 養殖環境チーム	0972-32-2155	2020.8.21
0653	水産研究部	<p>【まき網による漁獲物の資源調査を 早朝より行っています！】(2020.6.30発信)</p> <p>まき網漁で漁獲したばかりのイワシ・アジ・サバの体長測定を、早朝の市場で行っています。この調査は、これらの魚の資源量の推移等を把握するためにやっているものです。測定結果を他県と共有するとともに、これらのデータを元に、本研究部HPの資源・海洋情報の長期漁況予報などで、魚種ごとの水揚げ量の見通し等を情報発信しています。</p>		水産研究部 資源増殖チーム	0972-32-2155	2020.7.30

農林水産研究タイムリー情報

2021年5月7日時点

(合計334件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
0628	水産研究部	<p>【発生に備えて赤潮研修会を開催！】 (2020.6.5発信)</p> <p>新型コロナ対策を講じた上で、養殖業者を対象に、赤潮発生状況や被害対策等についての研修会を開催しました。赤潮に関する知識・監視への意識を高めてもらい、被害軽減につながることを期待しています。</p>		水産研究部 養殖環境チーム	0972-32-2155	2020.7.3
0614	水産研究部	<p>【ワクチン講習会を開催しました！】 (2020.6.1発信)</p> <p>魚病が発生しやすくなる時期を前に、養殖業者を対象に注射ワクチンの講習会を開催しました。座学と実技で正しいワクチン接種の方法を習得してもらいました。ワクチンによる疾病対策が更に進むことを期待しています。</p>		水産研究部 養殖環境チーム	0972-32-2155	2020.6.30
0587	水産研究部	<p>【早朝5時から市場調査をがんばっています！】 (2020.5.14発信)</p> <p>県内で漁獲されるマダイやヒラメなどの資源状況を把握するため、臼杵、鶴見などで体長測定や放流した魚かどうかの確認を行っています。調査データは資源保護や放流効果の把握にも役立ちます。</p>		水産研究部 資源増殖チーム	0972-32-2155	2020.6.30
0579	水産研究部	<p>【今年度もタチウオ資源調査が始まりました！】 (2020.4.28発信)</p> <p>毎月タチウオ標本を入手し、体長、成熟状況、年齢を調べて資源解析の基礎データとしています。解析結果はタチウオ資源を回復させるために必要な資源管理を行うための検討材料として漁業者にも提供しています。</p>		水産研究部 資源増殖チーム	0972-32-2155	2020.5.28

農林水産研究タイムリー情報

2021年5月7日時点

(合計334件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限								
⑨北部水産グループ (計74件)		※R元4/25までの組織名：浅海・内水面グループ												
0870	北部水産グループ	【松原ダム湖の陸封アユ移植放流】 (2021. 3. 4発信) 日田漁協では、ダム湖で一生涯を終える陸封アユを放流用種苗として有効活用するために、アユを採捕してダムの下流域に放流する準備を始めました。北部水産グループでは、技術指導や調査への協力を行っています。	 <p>昨年の採捕状況</p>	北部水産グループ 養殖環境チーム	0978-22-2405	2021.3.31								
0869	北部水産グループ	【県内の河川漁協が稚アユを放流しています！】 (2021. 3. 3発信) 県内の河川漁協では、アユの増殖を目的にアユの稚魚を放流しており、北部水産グループでは放流の指導を行っています。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <th colspan="2">放流尾数 (サイズ)</th> </tr> <tr> <td>日田漁協</td> <td>3/10～ 100万尾 (6cm)</td> </tr> <tr> <td>大分川漁協</td> <td>3/17～ 26万尾 (7cm)</td> </tr> <tr> <td>大野川漁協</td> <td>3/24～ 30万尾 (10cm)</td> </tr> </table>	放流尾数 (サイズ)		日田漁協	3/10～ 100万尾 (6cm)	大分川漁協	3/17～ 26万尾 (7cm)	大野川漁協	3/24～ 30万尾 (10cm)	 <p>昨年の日田漁協の状況</p>	北部水産グループ 養殖環境チーム	0978-22-2405	2021.3.31
放流尾数 (サイズ)														
日田漁協	3/10～ 100万尾 (6cm)													
大分川漁協	3/17～ 26万尾 (7cm)													
大野川漁協	3/24～ 30万尾 (10cm)													
0862	北部水産グループ	【陸封アユ移植放流】 (2021. 2. 24発信) ダム湖で一生涯を終えるアユを採捕してダムの下流に放流、天然資源の有効活用とアユの増殖に資する作業を3月1日から山国川漁協が実施します(耶馬溪ダム湖の流入河川である山移川(竹の弦橋～大平橋の間)でアユを採捕し、下流の山国川水系に移植放流予定)。	 <p>昨年の作業状況</p>	北部水産グループ 養殖環境チーム	0978-22-2405	2021.3.31								
0861	北部水産グループ	【バカガイ資源量調査を実施しました！】 (2021. 2. 24発信) なかなか資源回復の兆しがみえない状況が続いているバカガイについて、毎年2月頃、地元漁船を用船し、中津市地先で調査を行い、資源動向を把握しています。		北部水産グループ 資源増殖チーム	0978-22-2405	2021.3.31								
0860	北部水産グループ	【安心院町にアクアポニックス研究栽培専門農園！】 (2021. 02. 22発信) 循環式養殖から排出される物質を肥料として、水耕栽培などに利用するアクアポニックスは、次世代の持続可能型農業として注目されています。そのパイロットファームと研究所が安心院町にあり、当グループは、飼育されている「いずみ鯛(ティラピア)」の養殖指導を行っています。水耕栽培されているのはレタスやパセリなどです。	 <p>いずみ鯛が養殖されている水槽</p>	北部水産グループ 養殖環境チーム	0978-22-2405	2021.3.31								
0857	北部水産グループ	【種苗生産に用いるマガキ母貝を加温養成中！】 (2021. 2. 16発信) 今春、早期採卵によるマガキの人工種苗生産を実施します。採卵予定の4月中旬頃までに母貝を成熟させるため、水温の低い、この時期から母貝の加温飼育を行い、十分な餌を与え太らせています。		北部水産グループ 資源増殖チーム	0978-22-2405	2021.3.31								
0856	北部水産グループ	【ドジョウの加工品完成！】 (2021. 02. 15発信) 日本一の生産量を誇る宇佐産の養殖ドジョウに新たな加工品が完成しました。大型ドジョウの頭を落とし身を開き中骨を抜いて急速冷凍しています。『ウナギ1匹ドジョウ1匹』と例えられ、ウナギに匹敵する栄養価の高いドジョウ。【ほねめきドジョウ】をどうぞご賞味ください!!		北部水産グループ 養殖環境チーム	0978-22-2405	2021.3.31								
0849	北部水産グループ	【アサリ人工種苗を飼育中！】 (2021. 2. 4発信) 昨年秋季に採卵・種苗生産した約2千万個以上のアサリ稚貝を屋内水槽で飼育しています。現在、殻長0.8mmサイズまで順調に育っており、今春以降、アサリ資源を回復させるための増養殖試験等に用いる予定です。		北部水産グループ 資源増殖チーム	0978-22-2405	2021.3.31								

農林水産研究タイムリー情報

2021年5月7日時点


(合計334件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
0839	北部水産グループ	<p>【寒ヒジキ漁が終わりました】 (2021. 1. 29発信)</p> <p>1年で2日しか収穫されない幻のヒジキとして有名になった大分県漁協姫島支店の【寒ヒジキ】の収穫が、1月15日午前1～5時に行われました。今期は、わずか1日それも4時間の深夜の操業でした。やわらかな新芽だけを刈取ったヒジキはシャキシャキ食感で奇跡の逸品です。なお、国見支店では1月14日午前1～5時の操業でした。</p>		北部水産グループ 養殖環境チーム	0978-22-2405	2021.2.26
0831	北部水産グループ	<p>【トラフグの放流効果調査を実施中！】 (2021. 1. 6発信)</p> <p>姫島で水揚げされたトラフグ約250尾をサンプリングし、種苗放流時に装着された標識の有無などを確認しています。昨年度の結果では、調査した204尾のうち、放流種苗由来の個体は16尾で、全体の7.8%を占めました。</p>		北部水産グループ 資源増殖チーム	0978-22-2405	2021.2.5
0828	北部水産グループ	<p>【人工種苗ワカメの現地養殖試験開始！】 (2020. 12. 25発信)</p> <p>大分県漁協青年部香々地支部は、魚介類の産卵場・幼稚仔魚の生育の場にと、ワカメ養殖に取り組みたいと発案。当グループは、人工種苗ワカメが活着した種系を生産し、12月23日に青年部が香々地地先で現地養殖試験を開始しました。</p>		北部水産グループ 養殖環境チーム	0978-22-2405	2021.1.29
0821	北部水産グループ	<p>【ヒラメの精密測定を実施しています！】 (2020. 12. 24発信)</p> <p>瀬戸内海域のヒラメ資源評価調査の一環として、現在、定期的にサンプルを入手し、精密測定を行うことにより、ヒラメの成長や成熟に関する生態データの収集を行っています。</p>		北部水産グループ 資源増殖チーム	0978-22-2405	2021.1.29
0820	北部水産グループ	<p>【人工種苗ヒジキの現地養殖試験開始！】 (2020. 12. 23発信)</p> <p>本県では、天然ヒジキをロープに挟み込む養殖が盛んに行われていますが、当グループは天然種苗に頼らない、かつ、養殖ロープへの種苗挟み込み作業を要しない【人工種苗ロープ】の量産化に取り組んでいます。今期生産の人工種苗が活着したロープを用いた現地養殖試験を宇佐市沖の干潟、香々地および富来地先で開始しました。来年初夏の収穫に向け、生長や生産性を調査します。</p>	 国東市富来地先の養殖幹ロープに固定した人工種苗ロープ	北部水産グループ 養殖環境チーム	0978-22-2405	2021.1.22
0817	北部水産グループ	<p>【入津湾で人工種苗ヒロメの現地養殖試験開始！】 (2020. 12. 21発信)</p> <p>大分県漁協青年部下入津支部は、入津湾で毎年赤潮が頻発しているため、赤潮発生の原因となる栄養塩の吸収や環境浄化を目的に、ヒロメの養殖試験を行っています。当グループはこの養殖に供する人工種苗ヒロメを生産しており、12月17日に入津湾にて養殖を開始しました。</p>	 人工種苗ヒロメが活着した種系ロープを巻き付けた養殖用ロープ	北部水産グループ 養殖環境チーム	0978-22-2405	2021.1.22
0814	北部水産グループ	<p>【ノリの摘採始まる】(2020. 12. 9発信)</p> <p>中津市と宇佐市の地先で養殖されているノリの収穫が12月7日から始まりました。ノリは平均17cmに生長（長いもので40cm弱）しており、昨年より10日早い摘採です。寒風の中、来年1月下旬まで作業が続く、本県周防灘地先の冬の風物詩です。</p>		北部水産グループ 養殖環境チーム	0978-22-2405	2021.1.12
0808	北部水産グループ	<p>【耐病性家系のクルマエビを飼育中！】 (2020. 12. 4発信)</p> <p>国の研究機関において病気に強い家系として選抜されたクルマエビ種苗を今年7月に受入れ、屋内水槽で飼育しています。今のところ順調に成長しており、来春の養殖用の種苗生産に用いる親エビ候補として期待されます。</p>		北部水産グループ 資源増殖チーム	0978-22-2405	2021.1.4

農林水産研究タイムリー情報

2021年5月7日時点

(合計334件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
0803	北部水産グループ	<p>【天然種苗によるマガキ養殖試験を実施中！】 (2020. 12. 1発信)</p> <p>今年6月から7月にかけて天然採苗したシングルシード種苗を用いた養殖試験を行っています。 試験当初は体重2g程度しかなかった稚貝も、今では商品サイズの目安となる50g超えのカキも見られ始めました。</p>		北部水産グループ 資源増殖チーム	0978-22-2405	2021.1.4
0768	北部水産グループ	<p>【ノリの生育順調】 (2020. 10. 30発信)</p> <p>中津市と宇佐市の地先では、ノリの養殖が始まりました。ノリ網を30枚重ねて海面に張り込み、ノリの糸状体が入り込んだカキ殻をぶら下げて、ノリ網にタネをつける野外採苗作業は10月15～23日でした。 当グループではノリ網の芽つき状況を確認しており、10月27日時点で葉長0.2mmまで生長しています。例年どおりであれば、初摘採は12月の予定です。</p>	 宇佐市和間のノリ漁場  ノリの芽つき状況	北部水産グループ 養殖環境チーム	0978-22-2405	2020.12.28
0795	北部水産グループ	<p>【操業漁船から詳細な資源情報収集！】 (2020. 11. 24発信)</p> <p>豊前海や別府湾の小型底びき網漁で使用される網に深度・水温ロガー等を定期的に取付けています。 これら操業時のデータから、漁獲された魚介類の分布している水深帯や水温帯等の資源情報が得られます。</p>		北部水産グループ 資源増殖チーム	0978-22-2405	2020.12.25
0794	北部水産グループ	<p>【姫島の養殖クルマエビ出荷の盛期！】 (2020. 11. 20発信)</p> <p>姫島では、今年も養殖クルマエビの出荷が盛期を迎えています。 生育環境と餌にこだわり、大切に育てられたクルマエビ。優雅な姿と上品な甘みの最高級なクルマエビです。なお、当グループは養殖場の環境モニタリングを実施しています。</p>		北部水産グループ 養殖環境チーム	0978-22-2405	2020.12.25
0789	北部水産グループ	<p>【人工種苗ヒジキの海面育苗はじまる！】 (2020. 11. 18発信)</p> <p>令和2年7月にビニロン製ロープ（60m）とポリエステル製織布（5cm×80cm）×15枚）に受精卵を散布し、陸上水槽で育苗したヒジキの人工種苗（葉長：10mm）を、11月17日に宇佐市長洲漁港内にて海面育苗開始しました。 12月中旬からの現地養殖試験に向けて生長促進を図ります。</p>		北部水産グループ 養殖環境チーム	0978-22-2405	2020.12.25
0787	北部水産グループ	<p>【貝毒被害を防止するためマガキ等の検査を実施中】 (2020. 11. 17発信)</p> <p>海水温が低下してきて、マガキが肉厚濃厚になってきました。本県瀬戸内海域には、マガキの産地（中津、国東、杵築、日出）が多数あります。 安全・安心なマガキを出荷するために当グループでは、養殖場の海水プランクトン検査やマガキの安全性を判別する検査を行っています。なお、ムール貝養殖も行われているので、同様の検査を実施しています。</p>	 中津産の養殖マガキ  豊後高田産のムール貝	北部水産グループ 養殖環境チーム	0978-22-2405	2020.12.25
0786	北部水産グループ	<p>【シャコの資源調査を実施中！】 (2020. 11. 16発信)</p> <p>小型底びき網漁業の重要な漁獲対象種であるシャコですが、近年、漁獲は減少しています。 このため、サンプリング調査や標本船日誌調査によりシャコの資源動向の把握に努めています。</p>		北部水産グループ 資源増殖チーム	0978-22-2405	2020.12.25
0776	北部水産グループ	<p>【エノハの採卵が始まりました】 (2020. 11. 4発信)</p> <p>エノハの養殖用種苗を作出するために、採卵作業が始まりました。県内の生産者からは、自家養殖用に自ら採卵・人工授精に取り組んでいます。 受精卵は採卵から約30日後にはふ化し、大分の清流で育てられ、来年の6月には全長15cm（体重40g）になります。 刺身や塩焼き唐揚げ等でご賞味ください。</p>		北部水産グループ 養殖環境チーム	0978-22-2405	2020.11.30

農林水産研究タイムリー情報

2021年5月7日時点

(合計334件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
0773	北部水産グループ	<p>【ウミシダ攻撃試験の実施！】 (2020.11.2発信)</p> <p>ウミシダというヒトデの仲間が海底には生息しています。このウミシダが一部海域で大量発生し、底曳網の操業に支障が出ていることから、駆除方法を検討するため、腕の切断や空中露出等により攻撃し、ウミシダを死亡させる試験を実施しています。</p>		北部水産グループ 資源増殖チーム	0978-22-2405	2020.11.30
0766	北部水産グループ	<p>【大野川にて、アユの流下仔魚調査を実施！】 (2020.10.29発信)</p> <p>大野川のアユは10月中旬から産卵が始まっています。産卵後2~3週間でふ化が始まります。卵はだいたい夕方~夜間にふ化し、ふ化した仔アユは川を下って海に向かいます。当グループは白滝橋下流で17~24時の間、1時間おきに5分間プランクトンネットを流して流下仔アユを採集しました。なお、本調査は12月下旬まで実施し、大野川でのアユの産卵・ふ化・流下仔魚の実態を把握します。</p>	 プランクトンネットでアユ流下仔魚を採取中	北部水産グループ 養殖環境チーム	0978-22-2405	2020.11.30
0765	北部水産グループ	<p>【大野川にて、アユ産卵場調査を実施！】 (2020.10.29発信)</p> <p>大野川のアユ資源を増大させるために、産卵環境の把握と産卵状況を確認する調査を10月27日に白滝橋下流で実施しました。なお、大野川漁協が10月15日に実施した産卵場の造成効果も確認し、漁協にあわせて報告しました。</p>	 河床の隙間に産み付けられたアユの卵	北部水産グループ 養殖環境チーム	0978-22-2405	2020.11.30
0757	北部水産グループ	<p>【タイラギ養殖試験を実施します！】 (2020.10.23発信)</p> <p>国の研究機関で生産、山口県で中間育成されたタイラギ人工種苗2千個を用いた養殖試験を姫島で開始します。今回は大型円型ネットに種苗を収容し、これを海底に設置して、成長等を追跡していきます。</p>		北部水産グループ 資源増殖チーム	0978-22-2405	2020.11.30
0746	北部水産グループ	<p>【標識ハモを放流しました！】 (2020.10.15発信)</p> <p>豊前海の小型底曳き網で漁獲されたハモ15尾に水温と水深を自動計測する小型のロガーを装着し、標識放流しました。この標識ハモが再捕されれば、ハモの季節的な移動生態に関する貴重な情報を得ることが出来ます。</p>		北部水産グループ 資源増殖チーム	0978-22-2405	2020.11.30
0745	北部水産グループ	<p>【アユ産卵場を造成します~大野川~】 (2020.10.12発信)</p> <p>大野川のアユは、10月中旬~11月下旬に中~下流域の小砂利の河床に産卵します。しかし、産卵に適した場所が土砂の堆積等で減少しています。そこで、大野川漁協は10月15日(木)に産卵場造成に取り組みます。事前の調査で産卵場に適した大野川ゴルフ場近くの河川で、石起こし等を実施します。</p>		北部水産グループ 養殖環境チーム	0978-22-2405	2020.11.30
0735	北部水産グループ	<p>【マガキ天然採苗、稚貝の付着状況を調査中！】 (2020.10.6発信)</p> <p>今年6月から中津・杵築地区で実施中のマガキ天然採苗試験について、現在、回収した採苗器に付着している稚貝の計数作業を行っています。今後は付着状況と水温や流況との関連性についても検討していきます。</p>		北部水産グループ 資源増殖チーム	0978-22-2405	2020.11.30
0732	北部水産グループ	<p>【豊前海アサリ資源のモニタリング調査を実施します】 (2020.10.2発信)</p> <p>アサリ稚貝の発生状況等を把握するため、10月中旬の大潮干潮時に豊前海10地区の干潟において坪刈り調査を行います。今年春季に行った同調査では、残念ながら稚貝の広域的な発生は確認されませんでした。</p>		北部水産グループ 資源増殖チーム	0978-22-2405	2020.11.30
0731	北部水産グループ	<p>【アサリの人工種苗生産開始！】 (2020.10.2発信)</p> <p>資源の回復が待たれるアサリですが、秋の産卵シーズンを迎え、種苗生産を開始しました。これから殻長2mm以上の稚貝にまで育成して、来春以降の増養殖試験用の種苗として利用します。</p>		北部水産グループ 資源増殖チーム	0978-22-2405	2020.11.30

農林水産研究タイムリー情報

2021年5月7日時点

(合計334件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
0583	北部水産グループ	<p>【安心院のスッポン 産卵始まる】 (2020. 5. 13発信)</p> <p>スッポン養殖が盛んな宇佐市安心院町では、スッポンの産卵が4月下旬から始まっており、北部水産グループでは養殖指導を行なっています。 民間の養殖場では、早ければ6月上旬には稚ガメ(5g程度)がふ化し、翌年の11月ごろには出荷サイズ(800g程度)まで成長します。</p>	 <p>産卵された卵(上)と ふ化した稚ガメ(下)</p>	北部水産グループ 養殖環境チーム	0978- 22-2405	2020.11.30
0723	北部水産グループ	<p>【高級魚キジハタの標識放流を実施しました！】 (2020. 9. 23発信)</p> <p>キジハタの放流効果を明らかにするため、姫島地先に全長7cmサイズの人工種苗1,8千尾を放流しました。 放流した種苗は、天然魚と見分けられるよう標識として、二枚ある腹ビレの片方をカットしています。</p>		北部水産グループ 資源増殖チーム	0978- 22-2405	2020.10.30
0720	北部水産グループ	<p>【ナルトビエイの標識放流を実施中！】 (2020. 9. 15発信)</p> <p>アサリ等の食害種であるナルトビエイの移動生態を把握し、食害の実態を明らかにするため、周防灘(宇佐市沖)で試験操業により捕獲した個体にタグを装着し、再放流しました。 9月までに約50尾の標識放流を予定しています。</p>		北部水産グループ 資源増殖チーム	0978- 22-2405	2020.10.16
0706	北部水産グループ	<p>【高級二枚貝タイラギの着底稚貝生産に成功！】 (2020. 8. 26発信)</p> <p>6月から開始したタイラギの種苗生産試験ですが、2年ぶりに着底稚貝を生産することができました。現時点で約1,400個を生産し、これまでの生産記録(約200個)を大きく更新しました。さらに増産できるよう、研究を続けていきます。</p>		北部水産グループ 資源増殖チーム	0978- 22-2405	2020.9.30
0704	北部水産グループ	<p>【ナルトビエイの出現状況を調査！】 (2020. 8. 25発信)</p> <p>アサリ等の二枚貝を大量に捕食するナルトビエイの出現状況を把握するため、県漁協が実施しているエイ駆除作業に立会い、駆除された個体の雌雄別サイズなどを測定しました。</p>		北部水産グループ 資源増殖チーム	0978- 22-2405	2020.9.30
0698	北部水産グループ	<p>【玖珠川等にて、アユ生息状況調査を実施！】 (2020. 8. 14発信)</p> <p>7月の豪雨で甚大な被害となった日田漁協管内の玖珠川等でアユの生息状況調査を8月6日に実施しました。 日田市内水面活用推進協議会(日田漁協、日田市、大分県などで構成)による今回の調査は、豪雨後の状況を確認するため、玖珠川1箇所、大山川4箇所で行った。 大山川ではアユが藻類を食べた痕跡(ハミアト)を多く確認。玖珠川ではハミアトは数箇所の確認でしたが、元気よく泳いでいるアユ数尾も視認しました。なお、三隈川は豪雨の影響が残っていて調査できませんでした。</p>	 <p>本調査で採集した アユ(全長23cm)</p>	北部水産グループ 養殖環境チーム	0978- 22-2405	2020.9.30
0692	北部水産グループ	<p>【大野川にて、漁場診断調査を実施！】 (2020. 8. 5発信)</p> <p>大野川のアユ漁獲量を維持増大させる方策を漁協に提言するために、漁場環境やアユ生息状況調査を8月4日に、白滝橋周辺で行いました。 透明度、巨石率、浮き石率およびアユが藻類を食べた痕跡(ハミアト)を調査しました。 9月中旬までにあと8箇所調べます。</p>	 <p>アユがコケを食べた 痕跡</p>	北部水産グループ 養殖環境チーム	0978- 22-2405	2020.9.30
0691	北部水産グループ	<p>【地元高校生のインターンシップ！】 (2020. 8. 5発信)</p> <p>昨年度に引き続き、高田高校の生徒さん3名を受入れ、魚の解剖やプランクトンの検鏡などの実習を行いました。今回、参加の皆さんは水産や生物に興味があるとのことで、将来の進路につながる有意義な体験になったと思います。</p>		北部水産グループ 資源増殖チーム	0978- 22-2405	2020.9.30

農林水産研究タイムリー情報

2021年5月7日時点

(合計334件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
0669	北部水産グループ	<p>【ハモの市場調査を実施中！】 (2020.7.20発信)</p> <p>ハモ盛漁期である7~9月、別府の魚市場にて水揚げされたハモの調査を行っています。早朝4時頃から出荷用のスチロール箱に詰められたハモを一尾一尾、丁寧に全数測定しています。</p>		北部水産グループ 資源増殖チーム	0978-22-2405	2020.9.30
0681	北部水産グループ	<p>【人工種苗アカモクのプロック設置！】 (2020.07.29発信)</p> <p>アカモク資源の減少を危惧している大分県漁協香々地支店からの要望を受け、今年度初めてアカモクの人工種苗の作出に成功。市販の建材ブロックに根付かせた人工種苗を110日間屋外水槽で育成管理。 7月21日に香々地支店の漁業者が、漁港の外護岸にブロック8個を固定した。ブロックには約3,800本の種苗(葉長:16mm)が活着しており、来春の繁茂に期待。なお、10月には残りの20個のブロックと人工種苗ロープ45mを設置予定。</p>		北部水産グループ 養殖環境チーム	0978-22-2405	2020.8.31
0663	北部水産グループ	<p>【マガキ天然採苗試験を実施中です！】 (2020.7.13発信)</p> <p>6月下旬から中津市、杵築市の2地区で潮間帯を利用したマガキの天然採苗試験を行っています。今回設置した3種(カキ殻粉末を成形加工した固形物、合成樹脂で加工された軟質素材、ペットボトル)の付着基質を用いた採苗器は9月末までに回収し、稚ガキの地区別付着状況等を調査します。</p>		北部水産グループ 資源増殖チーム	0978-22-2405	2020.8.31
0656	北部水産グループ	<p>【かかぢネイチャーファミリーデイズへ出前水産教室！】 (2020.7.1発信)</p> <p>かかぢネイチャーファミリーデイズ(主催:県立香々地青少年の家)で水産教室を開きました。参加された9家族30名の皆さんに、大分の海や魚についての理解を深めていただきました。</p>		北部水産グループ 資源増殖チーム	0978-22-2405	2020.7.31
0655	北部水産グループ	<p>【キジハタの人工種苗生産を開始しました！】 (2020.7.1発信)</p> <p>キジハタは沿岸域で漁獲される高級魚であり、定着性が高いことから栽培漁業対象種として注目されています。キジハタの産卵シーズンを迎え、種苗生産試験を開始しました。</p>	 ふ化を待つキジハタの卵 (直径0.8mm)	北部水産グループ 資源増殖チーム	0978-22-2405	2020.7.31
0654	北部水産グループ	<p>【マダコの人工ふ化試験を実施中！】 (2020.7.1発信)</p> <p>母タコは産み付けた卵がふ化するまでの約1ヵ月間、そばを離れずに卵を保護飼育する習性があります。今回、母タコの代わりに水流やエアを用いて人工ふ化させることが出来ないか、陸上水槽内で試験を行っています。</p>	 水槽で試験中の白い房状のマダコ卵	北部水産グループ 資源増殖チーム	0978-22-2405	2020.7.31
0647	北部水産グループ	<p>【三隈川で越年アユ漁獲！】 (2020.06.29発信)</p> <p>アユは年魚とも呼ばれ、1年でその一生を終えると言われていたのですが、今回、日田市役所を通じて、遊漁者が越年アユを漁獲したという報告があったので、年齢を推定しました。2020年5月28日に日田市天瀬町の三隈川で漁獲された全長294.7mm、体重240gで、耳石の日周輪紋数から2018年12月上旬にふ化した539日齢(1歳5ヶ月)のアユで、2019年春に放流されたものということも側線上の鱗数から判明しました。静岡県や広島県の一部の河川やダム上流部で越年したアユの報告があり、本県でも希な事例です。</p>	 中心部 ↓ 耳石の輪紋	北部水産グループ 養殖環境チーム	0978-22-2405	2020.7.30
0639	北部水産グループ	<p>【スッポンの稚ガメ 続々誕生！】 (2020.06.25発信)</p> <p>文豪や美食家も愛した安心院のスッポン。宇佐市安心院町の養殖場では、6月に入ってふ化が始まり、稚ガメ(10g)が続々と誕生しています。例年だと10月中旬まで続きます。ある養殖場では1日578尾がふ化していて、今期は3万尾の稚ガメの誕生を見込んでいます。温泉を利用した養殖で来年の冬には出荷サイズの800gまで成長します。</p>	 ふ化日:6月24日	北部水産グループ 養殖環境チーム	0978-22-2405	2020.7.30

農林水産研究タイムリー情報

2021年5月7日時点




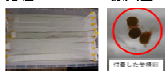




(合計334件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
0636	北部水産グループ	<p>【クルマエビ種苗の標識放流を実施！】 (2020.6.18発信)</p> <p>クルマエビの種苗放流効果を調べるため、眼にタグを装着した5cmサイズの稚エビ(約1万尾)を中津地先に放流しました。8月頃にも同様の放流を実施し、放流に適した時期についても検討していきます。</p>		北部水産グループ 資源増殖チーム	0978-22-2405	2020.7.31
0601	北部水産グループ	<p>【キジハタ種苗生産用の親魚を養成中！】 (2020.5.25発信)</p> <p>種苗生産に用いるキジハタの親魚養成を大分県漁業公社で開始しました。15トン大型水槽に親魚53尾を收容し、加温飼育により十分な餌を与えながら成熟させ、水槽内産卵を待ちます。</p>		北部水産グループ 資源増殖チーム	0978-22-2405	2020.7.31
0589	北部水産グループ	<p>【管内の河川漁協 アユ漁解禁！】 (2020.5.18発信)</p> <p>管内10漁協のアユ漁の解禁日が近づきました。</p> <p>5月20日～ 日田、玖珠郡、桂川漁協 6月1日～ 大分川、大野川、駅館川・長洲河川 宇佐山郷淡水漁協 6月10日～ 山国川漁協 6月27日～ 津江漁協</p> <p>※遊漁料等詳細につきましては、各河川漁協にお問い合わせください。</p>		北部水産グループ 養殖環境チーム	0978-22-2405	2020.7.31
0632	北部水産グループ	<p>【高級二枚貝タイラギの種苗生産が始まります！】 (2020.6.15発信)</p> <p>タイラギの種苗生産試験を開始しました。成熟した母貝に温度刺激等を与え、産卵を誘発します。受精卵は翌日には浮遊幼生となり、以降、幼生飼育から稚貝着底に至るまでの生産技術の確立を目指しています。</p>		北部水産グループ 資源増殖チーム	0978-22-2405	2020.7.16
0629	北部水産グループ	<p>【人工種苗ヒジキ等の海面育苗を開始！】 (2020.06.10発信)</p> <p>当グループでヒジキ受精卵を散布して、発芽体を植え付けた『人工種苗ロープ』と『ポリエステル製織布』および『今期収穫した養殖ロープ』の再利用化を目指して、6月8日から国東市富来浦地先で海面育苗を開始しました。9月まで育苗管理を行い、10月から現地養殖試験(本養殖)に供します。上の写真は幹ロープに取り付けた、左から収穫済みロープ、ポリエステル製織布の枠、人工種苗ロープです。</p>	 人工種苗ロープに根付いたヒジキ発芽体	北部水産グループ 養殖環境チーム	0978-22-2405	2020.7.10
0624	北部水産グループ	<p>【赤潮・貝毒調査 実施中！】 (2020.6.5発信)</p> <p>今年度も、4月から毎月3回(貝毒2回)、大分県瀬戸内海域の16地点(貝毒5地点)において、海中の植物プランクトンの状況をモニタリングしています。この調査は、海中の植物プランクトンの異常増殖により、水中の酸素が減るなどして魚類の大量死を招く『赤潮』やプランクトンの毒素が、二枚貝に蓄積すると貝を食べた人に健康被害を与える恐れがある『貝毒』を未然防止するために実施しています。昨年度の本県瀬戸内海域での赤潮発生は5回、貝毒プランクトンの増殖事例はありませんでした。</p>		北部水産グループ 養殖環境チーム	0978-22-2405	2020.6.30
0613	北部水産グループ	<p>【親エビの標識放流を実施！】 (2020.6.1発信)</p> <p>クルマエビの移動や成長等を調べるため、底曳き網で漁獲された親エビの眼にタグを装着し、宇佐沖に放流しました。今後、杵築沖でも実施し、9月までに両海域で計2000尾程度の標識放流を予定しています。</p>		北部水産グループ 資源増殖チーム	0978-22-2405	2020.6.30
0612	北部水産グループ	<p>【豊前海アサリ資源のモニタリング調査を実施！】 (2020.6.1発信)</p> <p>今季の豊前海アサリ資源の現存量を把握するため、6月の大潮干潮時に中津市から豊後高田市まで10地区の干潟において坪刈り調査を行い、稚貝の発生状況等を調べます。</p>		北部水産グループ 資源増殖チーム	0978-22-2405	2020.6.30

農林水産研究タイムリー情報

2021年5月7日時点

(合計334件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
0596	北部水産グループ	<p>【大分川のアユ資源を増大させる方策を提言！】 (2020. 5. 20発信)</p> <p>当グループは2019年度に実施した大分川での調査結果に基づき、アユ資源を維持増大させる方策について、大分川漁協に提案しました。 今後は漁協内部で検討することになりました。</p> <p>提案内容 ・産卵親魚の保護期間と保護区域 ・産卵場の造成時期 ・アユの放流適地</p>		北部水産グループ 養殖環境チーム	0978-22-2405	2020.6.30
0593	北部水産グループ	<p>【マガキ人工種苗生産の技術研修を実施！】 (2020. 5. 19発信)</p> <p>佐伯市のカキ養殖業者さんに人工種苗生産の技術指導を行いました。当技術を習得され自家生産されることで、種苗コストの低減や導入種苗の多様化につなげていただきたいと思います。</p>		北部水産グループ 資源増殖チーム	0978-22-2405	2020.6.30
0592	北部水産グループ	<p>【ヒジキの人工種苗生産を開始】 (2020. 5. 18発信)</p> <p>佐伯市蒲江森崎浦地先の天然ヒジキを採取し、研究室にて受精卵を放出させ、ロープと布に播種しました。 なお、今期は県下5地区のヒジキを用いて5回の生産を行い、人工種苗の要望に応えるべく量産化に取り組みます。</p> <p>ロープ区：9m×3本に156,500個の受精卵を播種 布 区：長さ80cm×幅5cmの布16本に70,800個を播種</p>	 <p>受精卵発生の様子</p>  <p>播種したロープと拡大図</p>  <p>播種した布と拡大図</p>	北部水産グループ 養殖環境チーム	0978-22-2405	2020.6.30
0588	北部水産グループ	<p>【日田市三隈川にて、石起こし作業を実施！】 (2020. 5. 14発信)</p> <p>日田漁協管内のアユ漁解禁（5月20日）を前に、組合員らが、三隈川で石起こし作業を実施しました。 巨石の下側に隙間を作ることで、アユの隠れ・安息場所に、そして餌となる藻類の付着面積の拡大につながり、アユの良好な漁場となります。</p>		北部水産グループ 養殖環境チーム	0978-22-2405	2020.6.30
0586	北部水産グループ	<p>【日出町のマコガレイ標識放流に立会いました！】 (2020. 5. 14発信)</p> <p>日出町の中間育成施設で昨年度から飼育され、全長14cmサイズまで成長したマコガレイ約500尾にアンカータグを装着し、日出町城下海岸等で標識放流が行われました。 北部水産グループでは、漁業者の方からの再捕報告や市場調査等から放流魚の追跡を行なっていく予定です。</p>		北部水産グループ 資源増殖チーム	0978-22-2405	2020.6.30
0582	北部水産グループ	<p>【シングルシードのマガキ人工種苗生産を開始！】 (2020. 5. 8発信)</p> <p>一個一個がバラバラなシングルシードのマガキ人工種苗生産を開始しました。今回は春先からの加温飼育により成熟を早めた親魚を用いて、通常より早期の採卵を行っています。</p>		北部水産グループ 資源増殖チーム	0978-22-2405	2020.6.30
0573	北部水産グループ	<p>【守江湾でアサリ増殖試験を実施中です！（その2）】 (2020. 4. 24発信)</p> <p>現在、実施中の杵築市守江湾のアサリ増殖試験では、逸散や食害を防ぐため稚貝を被覆網により保護しています。 今回、この被覆網内に収容する稚貝の適正密度を明らかにするための調査も開始しました。</p>		北部水産グループ 資源増殖チーム	0978-22-2405	2020.6.30
0572	北部水産グループ	<p>【守江湾でアサリ増殖試験を実施中です！（その1）】 (2020. 4. 24発信)</p> <p>杵築市、県漁協と連携して、アサリ資源が減少している守江湾で、当チームが生産した人工種苗を用いた増殖試験に取り組んでいます。 先日、2m×25mの被覆網20面に種苗1千万個を収容しました。</p>		北部水産グループ 資源増殖チーム	0978-22-2405	2020.6.30
0564	北部水産グループ	<p>【アサリ増殖試験を実施します！】 (2020. 4. 13発信)</p> <p>R2年度から県漁協中津支店等と連携し、中津市田尻地先でアサリ増殖試験を開始しました。 海底耕耘した干潟に4m×4mの4試験区を設け、放流稚貝の生残や天然稚貝の加入状況等を追跡していきます。</p>		北部水産グループ 資源増殖チーム	0978-22-2405	2020.6.30

農林水産研究タイムリー情報

2021年5月7日時点 (合計334件)



整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限																				
0554	北部水産グループ	<p>【日出地区で市場調査を開始します！】 (2020.4.3発信)</p> <p>R2年度から新たに県漁協日出支店の魚市場で調査を実施します。ヒラメやマコガレイ等の資源状況や放流効果を把握するため、水揚げされた魚の全長測定や標識の確認などを行います。</p>		北部水産グループ 資源増殖チーム	0978-22-2405	2020.5.31																				
0557	北部水産グループ	<p>【大分県初 アカモクの人工採苗試験！】 (2020.4.6発信)</p> <p>豊後高田市香々地地先の海藻(アカモク)が減少し、大分県漁協香々地支店所属の漁業者が危機感を感じ、藻場造成に取り組みたいとの要望を受けて、今年度から北部振興局と連携してアカモクの人工採苗に取り組んでいます。なお、この海藻はメカブやモズク同様、ミネラルや食物繊維、ポリフェノール等を豊富に含み健康食品として注目されています。</p>	 拡大写真：雌生殖器床	北部水産グループ 資源増殖チーム	0978-22-2405	2020.5.31																				
0561	北部水産グループ	<p>【県内の河川漁協が稚アユを放流しています！】 (2020.4.8発信)</p> <p>県内の河川漁協では、アユの増殖を目的にアユの稚魚を放流しています。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>放流尾数(サイズ)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>山国川漁協</td> <td>4/10～ 概ね10万尾(8cm)</td> </tr> <tr> <td>駅館川漁協</td> <td>4/3～ 5万尾(7cm)</td> </tr> <tr> <td>宇佐山郷淡水漁協</td> <td>4/13～ 3万尾(8cm)</td> </tr> <tr> <td>玖珠郡漁協</td> <td>4/1～ 1万尾(8cm)</td> </tr> <tr> <td>日田漁協</td> <td>3/7～ 72万尾(7cm)</td> </tr> <tr> <td>大分川漁協</td> <td>3/23～ 24万尾(7cm)</td> </tr> <tr> <td>鶴崎</td> <td>4/10 0.4万尾(8cm)</td> </tr> <tr> <td>大野川漁協</td> <td>3/11～ 86万尾(5cm)</td> </tr> <tr> <td>臼杵河川漁協</td> <td>4/6～ 3万尾(10cm)</td> </tr> </tbody> </table>		放流尾数(サイズ)	山国川漁協	4/10～ 概ね10万尾(8cm)	駅館川漁協	4/3～ 5万尾(7cm)	宇佐山郷淡水漁協	4/13～ 3万尾(8cm)	玖珠郡漁協	4/1～ 1万尾(8cm)	日田漁協	3/7～ 72万尾(7cm)	大分川漁協	3/23～ 24万尾(7cm)	鶴崎	4/10 0.4万尾(8cm)	大野川漁協	3/11～ 86万尾(5cm)	臼杵河川漁協	4/6～ 3万尾(10cm)	 昨年の山国川漁協の状況	北部水産グループ 資源増殖チーム	0978-22-2405	2020.4.30
	放流尾数(サイズ)																									
山国川漁協	4/10～ 概ね10万尾(8cm)																									
駅館川漁協	4/3～ 5万尾(7cm)																									
宇佐山郷淡水漁協	4/13～ 3万尾(8cm)																									
玖珠郡漁協	4/1～ 1万尾(8cm)																									
日田漁協	3/7～ 72万尾(7cm)																									
大分川漁協	3/23～ 24万尾(7cm)																									
鶴崎	4/10 0.4万尾(8cm)																									
大野川漁協	3/11～ 86万尾(5cm)																									
臼杵河川漁協	4/6～ 3万尾(10cm)																									
0563	北部水産グループ	<p>【収穫したヒジキの天日干し 最盛期！】 (2020.4.16発信)</p> <p>大分県漁協香々地支店、国見支店管内では、漁業者がヒジキを刈り取り漁港の広場に干しています。この時期、鯉のぼりとともにヒジキの絨毯をあちらこちらで見ることができます。両支店ではヒジキの増殖にも取り組んでおり、2019年の漁獲量は香々地で29トン、国見で50トンでした。</p>	 ヒジキの絨毯と鯉のぼり	北部水産グループ 養殖環境チーム	0978-22-2405	2020.4.30																				
0571	北部水産グループ	<p>【アユの遡上状況を調査中！】 (2020.4.22発信)</p> <p>アユは秋に川で産卵し、ふ化した稚魚は海に下って越冬し、春になったら川を遡上する魚です。大分県では、1988年から大分川、大野川、番匠川で遡上アユの状況を調査して、アユの遡上時期が昔と比較して遅くなっているか？ふ化時期が遅れていないか？等を継続的に調査し、漁協に調査結果をスピーディーに報告しています。</p>	 	(大分川・大野川) 北部水産グループ 養殖環境チーム (番匠川) 水産研究部 資源増殖チーム	0978-22-2405 0972-32-2155	2020.5.22																				
0576	北部水産グループ	<p>【宇佐支店青年部の養殖ヒジキ収穫！】 (2020.4.28発信)</p> <p>令和元年11月7日から宇佐市長洲地先の干潟で養殖していたヒジキを大分県漁協宇佐支店青年部の皆さんが、漁港内の浮桟橋を利用してヒジキを収穫しました。収穫したヒジキは推定2.5トン(湿重量)で養殖ロープ1mあたり8kg強でした。浮桟橋での刈り取り作業は初めての試みでしたが、沖の養殖場から漁港内まで繁茂したヒジキをロープごと作業船で曳いて持ち帰ることで、水流による【付着物の除去効果】が確認できました。また浮桟橋で養殖ロープを吊り上げることで、刈り取りやすくなり【作業の省力化】を図ることができました。</p>	 ロープごと持ち帰った養殖ヒジキ(上段)と刈り取り状況(下段)	北部水産グループ 養殖環境チーム	0978-22-2405	2020.5.20																				

農林水産研究タイムリー情報

2021年5月7日時点 (合計334件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
------	-----	------	-------	------	------	------

⑩農林水産研究指導センター(計2件)

0843	農林水産研究指導センター	<p>【季節のお花を使用したアレンジメントを展示しています！】(2021.1.29発信)</p> <p>当センター(豊後大野市三重町)の玄関ホールで、花きグループが作成した季節のお花を使用したアレンジメント例を参考展示しています。 花きグループで研究しているスイートピーやハボタンを中心に、この季節ならではの華やかな作品です。その他、最新の試験研究の内容をご紹介したポスターパネルの展示もしています。お近くにお越しの際には、ぜひお立ち寄りください。</p>		農林水産研究指導センター 研究企画担当	0974-28-2074	2021.2.26
0785	農林水産研究指導センター	<p>【ホオズキを利用したオブジェを展示しています！】(2020.11.11発信)</p> <p>当センター(豊後大野市三重町)の玄関ホールで、花きグループが作成したホオズキを利用したオブジェを展示しています。ホオズキはお盆のイメージがありますが、それ以外にも様々な活用法があります。 その他、最新の試験研究の内容をご紹介したポスターパネルの展示もしています。お近くにお越しの際には、ぜひお立ち寄りください。</p>		農林水産研究指導センター 研究企画担当	0974-28-2074	2020.11.30